

(3) 緊急プラン(素案)に対する市民意見(障害関係)

「障害者福祉作業所運営補助金」「障害者雇用助成補助金」「小規模通所授産施設運営補助金」について、同種の意見が多く寄せられており、同じ回答内容になるため、初めに基本的な考えを示します。

「障害者福祉作業所運営補助金」

(42) 障害者福祉作業所運営補助金については、ゼロ試案では平成21年度に1割削減となっていました。持続可能な支援制度の再構築に向けて、検討期間を設けるため、平成21年度は削減を見送り、平成22年度予算への反映に向けて引き続き検討を進めることとしました。

本市の制度においては、15人以上の作業所の場合、3,200万円余りの補助金を交付しています。大阪府制度においては、同じ規模であれば、障害者福祉作業所の運営費の基準額は650万円となっており、そのうち1/2ずつを府・市それぞれが負担することとされています。すなわち、市は2,500万円余りの上乗せ補助を単独一般財源で行っています。また、北摂各市と比較しますと、1箇所当たり概ね1.3倍から2倍程度の補助金を本市では支出しています。

本市の財政状況において、現在の制度のまま補助金をこれ以上拡大できる状況になく、作業所に新たに通うことを希望される方に対し補助金の対象とすることができないという閉塞的な状況となっています。また、障害者福祉作業所については、大阪府の補助制度が平成23年度末で廃止される予定です。大阪府では、障害者自立支援法に基づく新体系サービスに移行することで、国や府の補助金を獲得することを推奨しています。

このような状況を踏まえ、本市の障害者雇用・就労施策の今後のあり方について、持続可能な支援制度となるよう検討を進めているところです。このような検討の過程にあり、また、障害者福祉作業所の新体系サービスへの移行の実現性など不透明な状況下において、補助金を削減することについては慎重に判断する必要があるとの考えから、平成21年度予算においては1割削減を行わず、前年並の額を当初予算計上しています。ただ、本市の財政状況を考慮すると、来年度以降については、制度見直しとあわせ、それぞれの運営主体が事業継続できるような手法を模索しながら、市の補助金の縮減を図っていく必要があると考えています。なお、自立支援法制度への移行にあたっては、利用者や支援員の確保、法人化等様々な課題があることから、移行に向けた支援策や安定運営に向けた移行後の激変緩和措置等の新設も必要と考えています。

「障害者雇用助成補助金」

(43) 障害者雇用助成補助金については、ゼロ試案では平成21年度に1割削減となっていました。持続可能な支援制度の再構築に向けて、検討期間を設けるため、平成21年度は削減を見送り、平成22年度予算への反映に向けて引き続き検討を進めることとしました。

本市では、「(財)箕面市障害者事業団」設立(平成2年)等、障害者の雇用に早くから積極的に取り組んできました。障害者雇用助成補助金もその取り組みのひとつです。この補助金は、昭和61年から実施している本市独自の制度で、障害者に支払う賃金のうち最低賃金の75%を市が助成するもので、障害者事業所で働く障害者の賃金の一部を補填していることが特徴です。

このような制度は、全国的にもあまり例がなく、類似した制度を実施している自治体としては、他に滋賀県と札幌市が挙げられます。本市の補助金は、これらの自治体と比較しても高水準で、多いところで約5,000万円(障害者31人規模)、少ないところでも約1,100万円(同6人規模)の補助金を交付しています。このことが、市内での障害者の働く場を支え、障害者が地域で生活することを支えてきたと考えています。ただし、この制度は本市の独自の制度であるがゆえに、国や府の補助金が受けられず、障害者事業所に交付する補助金は全て市の単独一般財源負担となっています。

本市の財政状況において、現在の制度のまま補助金をこれ以上拡大できる状況になく、事業所に新たに通うことを希望される方に対し補助金の対象とすることができないという閉塞的な状況となっています。

このような状況を踏まえ、本市の障害者雇用・就労施策の今後のあり方について、持続可能な支援制度となるよう検討を進めているところです。このような検討の過程にあり、先行きの不透明な状況下において、補助金を削減することについては慎重に判断する必要があるとの考えから、平成21年度予算においては1割削減を行わず、前年並の額を当初予算計上しています。ただ、本市の財政状況を考慮すると、来年度以降については、制度見直しとあわせ、それぞれの運営主体が事業継続できるような手法を模索しながら、自立支援法制度への移行も含め、市の補助金・一般財源の縮減を図っていく必要があると考えています。

「小規模通所授産施設運営補助金」(44)小規模通所授産施設運営補助金については、ゼロ試案では平成21年度に1割削減となっていました。持続可能な支援制度の再構築に向けて、検討期間を設けるため、平成21年度は削減を見送り、平成22年度予算への反映に向けて引き続き検討を進めることとしました。

本市の制度においては、15人以上の通所授産施設の場合、3,100万円余りの補助金を交付しています。大阪府制度においては、同じ規模であれば、小規模通所授産施設の運営費の基準額は1,380万円となっており、そのうち1/2ずつを府・市それぞれが負担することとされています。すなわち、市は1,700万円余りの上乗せ補助を単独一般財源で行っています。北摂各市と比較すると、1箇所当たり概ね1.3倍から2倍程度の補助金を本市では支出しています。

小規模通所授産施設については、大阪府の補助制度が平成23年度末で廃止される予定です。大阪府では、障害者自立支援法に基づく新体系サービスに移行することで、国や府の補助金を獲得することを推奨しています。現在、市内小規模通所授産施設については、新体系サービスへの移行に向けた検討を進めておられますが、移行に向けてはさまざまな課題があり、それらをひとつひとつ解決していく必要があります。このような検討の過程にあり、補助金を削減することについては慎重に判断する必要があるとの考えから、平成21年度予算においては1割削減を行わず、前年並の額を当初予算計上しています。

今後、本市の財政状況を考慮すると、補助金の縮減を図っていく必要がありますが、自立支援法制度への移行にあたっては、利用者や支援員の確保、法人化等様々な課題があることから、移行に向けた支援策や安定運営に向けた移行後の激変緩和措置等の新設も必要と考えています。

No.	種別	意見	市の考え方
001	障害	<p>障害者雇用助成金・障害者作業所運営補助金に関して</p> <p>まず、雇用助成に限らず、授産施設・デイサービスも含め、福祉予算全体の中でどこに重点を置き、障害者の生活と労働に関して市としての方針が見えません。市の財政難は、事実であり、自分たちも日々努力を続けていますが、今回の素案では「自助努力」で何とかするレベルでは全くなく、受け入れることはできません。</p> <p>障害者雇用助成金「持続可能な制度に見直し」ということですが、今回の素案のように5年間で8600万円も削減すると、完全に「持続不可能」になってしまいます。</p> <p>障害者雇用助成制度は、市単費でのものに見直しが必要であることは理解できますが、この制度は、障害者と健常者が共に仕事を作り出し、障害者が「市民」として生活するための賃金を保障する先駆的なものです。行政と協働して築き上げてきた「共に働く形」は、昨年障害者事業団の「社会的雇用検討委員会」の中でも確認されましたが、一般企業の中で様々な人が働くための「働き方」を提案しようものだと考えます。</p> <p>あわせて、H23に府の作業所助成金がなくなり、市の補助金も大幅カットされると、箕面市内の作業所は、現実的には事業所に移行するか、自立支援法に移行するかの二者択一を迫られることとなります。自立支援法については、「障害者」と「健常者」を明確に分けるものであり、箕面市の障害者事業所制度の考え方から大きく後退するものです。障害者事業所・作業所(一部を除く)とも、自立支援法への移行は受け入れられないと考えています。</p> <p>まず「お金を減らして」という考え方では、障害者の働く場所、行き場所がなくなり、路頭に迷うことになってしまいます。</p> <p>障害者の一般就労が、遅々として進まない中で障害者の「雇用」について、どのように考えておられるのか、市としての明確な方向性を示していただきたいと思えます。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
057	障害	<p>箕面小学校の前に障害者労働センターの店があります。車椅子で通ってこられるこの店の店長さんは顔見知りも多く笑顔で皆さんと挨拶して行かれます。近所の人達バザー用品を箱に入れてその店の前に並べて置きます。私もその中の一人です。</p> <p>その労働センターは給食弁当の配達もしていて、私も時々利用していますが、障害者の人は、代金を間違えないよう一生懸命注意をして集金しています。不自由な体で精一杯頑張っている方達を見て、私達も励まされ、出来るだけの援助はさせていただきたいと、周りの人達もバザー用品など出したり買ったりしてお力添えをしています。</p> <p>一年に一度の大バザーでは外人学生も大勢買い物に来ます。その店の前を通る時は、お客様の数など、中の様子を見て通りますし、周りには近所の皆さんの温かい雰囲気が流れています。</p> <p>この度、赤字財政対策のため、福祉予算も順次削られるという事ですが、これ以上補助金を削られますと、今でも精一杯頑張っているこの店も続けて行けなくなると聞きました。</p> <p>障害を持つ人達は今の職場がなくなれば、おそらく再就職は無理でしょうから、生活保護にたよざるをえないでしょう。自分たちの能力に合った仕事場で生き生きと働いている人達の職場を守ってあげてください。私達も一生懸命応援しています。</p> <p>限られた財政で、予算を組まれる市の方々も四苦八苦されている事と思いますが、どうか予算全体をみわたせられて、医療・福祉など“命”にかかわる予算は削らず維持してください。私達も、他の分野での少々の不便、不自由は我慢いたします。</p> <p>市民が温かな気持ちで生活できるように切に切に御配慮をお願いします。</p>	
058	障害	<p>福祉の分野で働く人々はぎりぎりの給金で生活をしています。助成金が減るとたちまち生活が成立たなくなり、路頭に迷います。弱者を切りする政策は箕面市の未来にけしてよい結果にならないでしょう。</p>	
059	障害	<p>箕面市役所は税金をムダづかいをしてる。わたしはまだ豊能障害者労働センターではたらいきたいです。まだやめたくないです。</p>	<p>なお、皆様のご意見を伺った結果、上記障害者関係の項目は、持続可能な支援制度の再構築に向けて、検討期間を設けるため、平成21年度は見送り、平成22年度予算において反映すべく、継続して検討していきます。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
063	障害	<p>私も箕面市に納税しています。 弱者をも切り捨てようとする箕面市の税金の使い方にいきどおりを感じます。 私のような障害者はたちまち生活にこまってしまいます。 いまでもギリギリの生活なのですよ。 もっと福祉の事を考える箕面らしく私たちの事を考えて下さい。 豊能障害者労働センターでしか働けない私の事も考えて下さる事を信じております。</p>	
064	障害	<p>今回の素案について、特に障害者や高齢者とともに生きることへの視点が欠如されていると思います。社会から弱者にされている弱者が、また、一方的に弱者にされていく、そのように思います。わたしは「豊能障害者労働センター」障害者事業所で働いているものですが障害者事業所の存続に非常に危機を感じました。市民・行政やさまざまな団体・個人が協同しつくりあげた、箕面市独自の障害者事業所制度の理念を共有し「持続可能な制度」として存在案を出していただいたことをうれしく思いますが、2年間は1割減、その後2割減とありました。現実的には、持続不可能と断言しなくてはなりません。現在、健常者スタッフは週5勤務で12万5千円、週6勤務で15万円の給料となっています。日曜勤務や残業をしても15万円以上になることはありません。週6勤務の人は、代替休日もとれないまま長時間勤務をしているのが実態です。障害者スタッフに関しましては、制度上も、また人権の視点からも最低賃金より低い賃金にすることはできません。(障害者スタッフ33名(すべて専従)、健常者スタッフ22名(専従13名計55名)早急に経費の見直しをすること、事業収益を増やすことが重要課題だと認識していますが、不況の中でリサイクル事業・通販事業など事業においてこの数年かなりの売上げが下がっています。豊能障害者労働センターは、約5000万の助成金が入っています。そのうち店舗家賃や倉庫家賃・倉庫家賃・駐車場などに1200万以上を支出し、障害者の働く権利を保障する賃金補填として最低賃金の4分の3を助成されています。障害者スタッフの4分の1の給料と健常者スタッフの給料や、雇用保険や事業経費など事業売上げから出ています。投入された税金は、障害者の自立をはじめ、職業的軽度障害者が労働することで、障害者自身が障害者や健常者を雇用することになり、いろいろな形で税金を還流させ、経済効果をあげています。</p> <p>この障害者事業所制度の核となる障害者への賃金補填は、生活保護や障害者年金とは違い、社会とつながり、人とあいて、「働くこと」を通して、ともに生きる力を生み出すものとなるものです。障害者自立支援法が制定され、国はかつてないほどに、障害者の「就労」をキーワードとして、一般労働市場へ障害者を追い込んでいます。しかし、昨今の非正規社員や派遣社員の非人間的な突然の首切りなど、「働くことの意味」の貧しさの根源に目を背けたまま、今まで一方的に障害者を労働から排除してきたにもかかわらず、経費削減のためか？市場経済における能力・成果主義の渦の中に障害者を巻き込んでいこうとしているように思えます。労働力のみを求めるものであれば障害者はまさきに首を切られます。また、世界の競争市場経済の中で、勝ち残るために、ますます非人間的な労働の場となり、多くの障害者、精神障害を持つ人を生み出しているのも事実です。この緊急プランにある、めざす箕面の未来…。子育てしやすい日本一！安心・支えあい最優先！緑・住みやすさ最先端！まさに、その通りだと思います。だれもが望むところだと思います。結婚をし、家庭を持ち、子育てをする。そのためには、人は人として成長でき、継続して、安心して働ける場が必要です。今、「労働」をどのようにとらえるのか、真剣に問われているのだと思います。今、子どもたちにそのことをちゃんと伝えていかなければ、子どもたちの将来に希望を持てる輝く未来は訪れません。労働現場そのものが、もっと人間に優しいものでなければと思います。</p> <p>人それぞれの持っている潜在的な「生きていく力」を、人によって引き出されるのではないのでしょうか？そのひとつに「労働」があると思います。どこにもない箕面独自の障害者事業所制度です。時代とともに果たす役割は変わっていくものだと思いますが、障害がある人もない人もともに、経営を担い、働き、給料を分け合う理念は変わりません。「労働」の中身を問いかけているのが障害者事業所制度だと思います。ともに働く共同労働の理念を、障害者が働く一般就労現場へも提案できるものだと思います。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
		<p>障害者事業所は、障害者問題を「福祉」だけにとどめず、「労働」の視点から社会に発信してきました。箕面市は、今、この不況の中で自治体に求められている独自の雇用対策を、福祉の枠のみならず長年にわたって、いち早くこの障害者雇用の問題を「労働の野」として取り組んできたものだと思います。いまこそ、この箕面の制度の独自性を国に発信してほしいと思います。</p> <p>子育ては、グローバル化ができません。人と人とのつながりのなかで、知恵や情報を共有し、社会の宝として見守ることができる中で、子育てしやすい箕面になるのだと思います。障害者が働いている店は、まさに障害者が人と人とを結びつける架け橋となっています。そして、職業的重度障害者があたりまえに働くことは、豊かな労働を模索し、社会に提案することであると思います。</p> <p>この財政再建が緊急であることは理解しますが、今一度、どうか障害者事業所制度を、箕面市の共有財産として庁内をはじめ、市民の方々にちゃんと理解していただけるものにするために、もう少し話し合い・理解しあう場と、時間をつくっていただき、本当に持続可能な制度にさせていただきますようお願いいたします。と同時に、一般就労のみならず、もうひとつの職業的重度障害者の働く場としての選択肢として、様々な雇用を創出している障害事業所制度(職業的重度障害者を働くことを通して社会へつながるための賃金補填)を国へと要望してください。</p> <p>障害者事業所が廃止された場合のデメリットなど</p> <p>1) 障害者事業所で働いている廃止後の障害者の働き場所は？ デイサービスなどの施設に入った場合の税金投入費はどれくらいになるか？ 今まで障害者の手に渡っていたお金が、施設に入ることで税金は施設費や職員の給料となり、当事者の手には渡らず、選択肢が奪われる。</p> <p>2) 自立していた障害者スタッフは、給料がなくなり家賃が払えず、家族の世話になるか、施設に入るか？その場合の税金投入費はどれくらいになるか？</p> <p>3) 働くことでサービスを提供していた労働者が、一方的にサービスを受けるだけの客体とされる。</p> <p>4) 市民とのつながりが希薄となり、障害者問題の人権啓発の場が少なくなる。</p> <p>5) 花屋やリサイクルショップ・定食屋などまちの中にあつた何気ない店が、お客さんを呼びお客さんに喜んでいただき、また市民の方々に、障害を持っている人が働くことを温かく見守っていただいていた何気ないまちの景色が消えることは、活気ある箕面のまちをさびしくさせる。</p> <p>6) 設立当初より、たくさんの方々にボランティアとして支えていただきました。高齢者の方が就労できない精神障害者の方や、引きこもりをしていた若い方々など。引きこもりの若者が社会へ出る一歩になったりもしました。障害者が働いていることで、様々なまちの人たちに応援してもらうことが、まちの中を活気付けていることでもありました。その場がなくなると、まちを寂しくさせます。</p> <p>7) リサイクル事業は、リサイクル品を回収し、その中から商品になるものを選び出し、磨きをかけてほんまもんの商品にしていく。その過程に、たくさん仕事が生み出され、様々な形で障害者スタッフが仕事に携わり、不必要とされていた物から年間約2500万近い収益をあげているが、その物がまったくだの「ゴミ」となってしまいます。など、障害者の施設から地域への移行は、障害がある人が排除されずに対等に働ける場が必要です。障害者・高齢者が、いきいきと生きがいのある暮らしをつくることに税金を有効に使う政策をうちだして下さい。</p> <p>また、社会(地域)の問題を解決していくための、社会的(企業)事業所の研究機関(課など)を先駆けて創設して下さい。</p>	<p>市の考え方</p>

No.	種別	意見	市の考え方
080	障害	<p>私は10年くらい豊能労働センターとお付き合いがあり、健常者と障害者の皆さんが同じ立場で働いて収益を確保し自分達で自立を考えていらっしゃる姿をみてきました、今回助成金カットに関して財政難な為と充分に解ってはおりますが、ただ単に助成金カットと言われても怒涛に迷うのは目に見えております。後のホローは誰がするのでしょうか！</p> <p>ただカットをするだけでなく、各福祉団体が自立できることを十分に話し合ってから行なうべきです。たとえば障害の度合いがあるかもしれませんが、収益を得られる産業を考えると、商業者と障害者団体をつなぐ為の手助けをすとか、今こそ行政はたてのつながりではなく横のつながりを持っていただきたく思います。(たとえば、福祉関連の課と商業関連の課)。又第三セクターが一番にそれをにないそれで商業活せいに役立つべきです！</p> <p>ただただ弱いものが外においやることだけは止めてください。モット削減するところはあると思います。そして知恵を出せばともに歩むことが出来ると思います。よろしく願いいたします。</p>	<p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
088	障害	<p>今回の緊急プランに書かれている内容は障害者とともに働いている僕たちにはとても厳しい内容となっています。市政側の財政もプランのリストなどを見ていたら、大変なのは分かりますが、急速(5年)に減らすのではなく、もう少し緩やかなスピード、例えば、倍の10年で当事者の負担を考えてもらいたいと思います。公共施設の耐震問題や市民のニーズも大事ですが、今ある目に見える大事なものを大幅に削って、新しいことをするのはないと思います。財政は限られたものであるからに大事な部分をないがしろにして、新しいことをしても、一部の人が喜ぶのではなく、すべての市民が納得がいくような政策を行い、それで未来の子供たちにも住みやすい環境を整えるべきではないか。未来の子供というのは身近な未来を指しているのであるなら、無理をしすぎだと思う。今を見つけながら、ゆっくり歩むのもひとつの方法であると思う。今のままの財政ですと財政はすぐに底つきますが、それも考え次第で、市民のためにしていることであるから、赤字になっても仕方ないことでもあると思える。行政というのは会社ではないので、利益を求める必要はない。だから、市民のための政策を行い財政(税金)を使うなら、国民は文句の言いようがない。最後になりますが、箕面市は障害者のためにすごい独自の政策を行なっているのを誇りに思い、市民すべてが幸せに暮らせるような環境を作っていれば、未来の子供たちにとってますごしやすい環境だと思える。</p>	<p>「拙速・性急すぎる、突発的に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
098	障害	<p>1. これだけ大きな施策をするのであれば、周知の仕方や期間に問題があるように思う。(このプランを知らない人が、周りにたくさんいた。)</p> <p>2. 箕面市の事業は、約900事業ある中で、何故この87項目になったのかが納得がいけない。全ての項目を提示して、廃止や削減をしない理由の説明を行うべき。これでは、弱者切り捨ての箕面市と言われても仕方がないのではないかと。高齢者・障害者・育児分野が多いことが納得がいけない。</p> <p>3. 箕面市長の所信表明していた、子育てのしやすさ・緑・住みやすさ・安心出来るまちの3本柱はどうするのか。これでは、逆行している。</p> <p>4. ぎりぎりの生活の中で、保育料まで上がると働いてもほとんど手元に残らず、働けない人が多く出てくる。生活を脅かす施策でいいのか。</p> <p>5. 小さな福祉団体では1割削減となれば、2人分の人件費に相当する。わずかに、10数名で切り盛りしている中で、これ以上の削減をされると、事業の縮小又は閉所をしなくてはならない。箕面市は、障害者の生活やハンディを持ちながらも生きる意欲を奪う権利はないはずである。この施策で障害者の働く場が無くなった場合、箕面市としてどのように考えているのか聞きたい。</p> <p>6. 障害者長期計画(Nプラン)では、障害者の権利擁護事業の推進を謳っていたように思うが、Nプランと緊急プランがどのようにリンクするのか、全く一貫性がないのではないかと。</p> <p>7. 87項目の中で、現在、福祉団体が利用している項目も多くあり、補助を1割削減してさらに経費負担が増となれば経営が苦しくなる。福祉団体の実態を正しく調査した上で出された案とはどういふ考えにしたい。その、根拠を提示していただきたい。</p>	<p>1. 「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1)を参照して下さい。</p> <p>2. 7. 「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか? もっと他にも改革すべき事業があるのでは?」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3)を参照して下さい。</p> <p>3. 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3)を参照して下さい。</p> <p>4. 「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは?」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3)を参照して下さい。</p> <p>6. この緊急プラン(素案)・ゼロ試案はチーム“ゼロ”が作成した議論の為のたたき台ですので、Nプランを実行する事業担当課との調整は行っていません。改革の実行に当たっては、市民の皆様の意見も参考にしながら事業担当課との調整を行い、議会とも議論し毎年の予算編成で実行していきます。</p> <p>(4)9保育所の保育料については、所得階層の区分に応じた改定の影響を考慮するとともに、第2子以降の負担軽減策の検討も含め、保育料改定の検討期間を設けるため、平成21年度は改定を見送り、平成22年度予算において改定する考えです。</p> <p>保育所は、保護者が就労などにより家庭で保育できない場合に、家庭に代わって子どもを保育する施設です。その趣旨から、保育所運営に必要な経費をまかなうために、所得に応じて保育料をご負担いただくことが基本です。本市では、保育所運営経費については、保育水準を向上させるべく、国の基準額を上回る支出を行っています。また、これまで保育料は総額で国基準の7割を目安に設定しており、一般財源の負担が大きい状況です。さらに、他市町村と比較して平均的な保育料設定としつつ、3歳以上児の主食費を徴収しておらず、実費面での負担軽減を行っています。今後、一定額の負担増をお願いせざるを得ないと考えています。</p> <p>なお、所得に応じた負担という観点については、国が7つの階層区分であるのに対し、本市は19階層とし、所得の状況に応じた細分化を行っており、この点の考え方は継続する予定です。一方、保育所運営については、この間、保育所民営化、対数変更により経費削減に努めつつ、平成21年度は退職補充の新規採用を行うなど適切な運営に努めております。</p>
109	障害	<p>世の中、弱い者いじめが、なぜ多いのでしょうか。箕面は障害者にあつたかい街と思っていました。それがどうでしょう。財政支出削減案にはビックリしました。助成金をけずるとは。けずるところはもっと他にあると思うのです。市役所職員の給料や議員の給料やその他、もろもろ私達の家庭でもきりつめる所は電気のスイッチをこまめにきるとか、出来るかぎりは、気をつけるようにしています。役所でも、まだまだ出来るのではないですか。箱ものは、もうたくさんです。障害の有る人も、ゆたかにくらせる、箕面と、ほこれる街にどうぞお願いします。“弱者、いじめはやめて”</p>	<p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは?」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3)を参照して下さい。</p> <p>(7)市職員の給与は、人事院や大阪府人事委員会による職種別民間給与実態調査結果とそれに基づく勧告内容により見直し給与改定を行っています。また、これら勧告を踏まえた給与改定に加えて、本市の財政状況等を考慮して、市独自に給料月額・期末勤勉手当のカット、昇給の停止(12ヵ月先送り)などの取り組みを実施したほか、年功的な給与構造の見直し(給与カーブのフラット化)により給料表の平均6.9%引き下げなどを行い、平成19年4月現在の給料水準を計るラスパイレース指数(国家公務員を100とした指数)が99.2(府内市では15番目の水準)となっています。</p> <p>さらに、平成21年1月からは、職員給料・職員手当カット(管理職4.5%削減、管理職以外4%削減)を実施しましたが、引き続き、極めて厳しい財政状況であることから民間給与との調査結果等も踏まえながら、人件費の抑制を進めていきます。</p> <p>また、職員手当については、国家公務員や近隣自治体における給与制度、民間給与との均衡等を基本に制度化していますが、社会情勢の変遷や財政事情などを踏まえて、住居手当の一律カット、通勤手当の支給基準の引き下げ、特殊勤務手当の22手当から15手当への削減と単価の引き下げ、また、退職手当の支給率の引き下げと退職時特別昇給の廃止など諸手当全般にわたり見直し・削減を順次実施してきました。今後も、引き続き、手当の種類、額及び支給基準などを必要に応じて見直し、適正化を図っていきます。</p> <p>「市議会議員について、人数や報酬を見直すべき」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3)を参照して下さい。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
111	障害	<p>補助金の見直しについて意見させていただきます。 箕面市の財政が逼迫しているのはよくわかります。 ただ障害福祉分野における削減が本当に正しいのか疑問です。 どのような根拠から作業所、小規模通所授産施設の運営補助が1割削減になるのですか？ その数字の根拠はまったくどこからはじきだされたものか私には正直理解できません。 全体の削減案ありきで、各分野での削減の割振り、障害福祉分野削減額決定ように感じられてなりません。数字から入るのではなく各事業の必要性、コストの検証をし、その中で具体的にどの部分に無駄があるのかを判断し、削減額を出し、提示、検討すべきでないでしょうか。 障害者作業所、小規模通所授産等は営利目的で運営・活動しているものではなく、補助金を基盤として活動しています。補助金の状況によっては活動できない側面もでてきて、障害当事者の生活にも直接影響してくることも免れませんし、障害者事業所の助成などをいち早く行ってきた箕面市の障害福祉の後退といわざるうえないと考えます。 また障害者自立支援法の23年度法定事業への移行、補助金カットに関しても、各作業所、事業所、小規模通所授産に関しては箕面市との具体的な話あり、移行プラン作りも進んでいない状況の中でどのような形で移行について進めていくか？市と各事業所間が検証、検証する事の方が優先で、その検討、検証ができていない中で法定事業への移行、24年からの補助金カットの見解は財政削減のみ考えているようにしか思われず理解できません。 時間が足りないのはわかりますが、今回はあまりにプロセスがなく、もう少し具体的な検証、検証が必要ではないでしょうか？その過程がなければ今後も同様な事がおき、その度に立場の弱い障害者市民が施策に振り回され犠牲になるように思われます。</p>	
112	障害	<p>障害者作業所、事業所、小規模通所授産の補助金削減に関しては箕面市の第二次障害者市民の長期計画との整合性はまったくみられないように感じます。 どちらも箕面市の計画であるのに、一方では削減、また一方では充実と障害者福祉にかかわるものとして理解しがたいものがあります。 また、今回の緊急プランは大阪府のPT案と違い、全事業に対する見直しと、各関係部局との調整がしっかり行われていないような気がします。 来年度予算の兼ね合いもあり、予算案成立を優先しているのかもしれませんが、このままでは今まで箕面市が築きあげてきた障害福祉が崩れてしまうかもしれません。 じっくり時間をかけ、財政面のみではなく将来的に箕面市をどうしていきたいか再度検討をお願いします。</p>	<p>この緊急プラン(素案)・ゼロ試案はチーム“ゼロ”が作成した議論の為のたたき台ですので、Nプランを実行する事業担当課との調整は行っておりません。改革の実行に当たっては、市民の皆様の意見も参考にしながら事業担当課との調整を行い、議会とも議論し毎年の予算編成で実行していきます。</p>
114	障害	<p>倉田哲郎様 市長にお願ひがあります。 「ふくしのまち箕面」であり続けるため、障害者事業所の補助金助成の削除をやめて下さい。 障害のある人や高齢者の方の生活に目を向けて下さい。 全国にはこれの「ふくしのまち箕面」であってほしいと願ひます。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
116	障害	<p>緊急プラン(素案)に対し一市民として意見を述べさせていただきます。</p> <p>現在箕面市在住10年、職業訓練に係わる仕事をおこなっています。小泉改革以来、聖域なき行政改革が行われ、弱者切捨ての現状がここに来て国策さえ揺るがす状況になっています。箕面市は先見の将来ビジョンをもって、意義ある有効な政策を進めていただく投稿させていただきます。</p> <p>基本的には財政が厳しい状況では、利用者には行政サービスに対しては一定の負担をしていただくか、サービスの質を下げる以外ないと思います。しかし効率的でないことや市民生活を維持するためにどうしても行政が行わなければならない事もあるのも事実です。</p> <p>重点項目でもある安心・支えあい最優先(セーフティネット制度の確立)です。</p> <p>子育て支援等は掲げていますが、弱者特に障害者支援について、市には全国に誇れる支援を行っている制度があると聞いています。障害者と健常者が共に働ける場を支える制度、すばらしいと思います。国へ財源丸投げ、市で独自の政策は継続しないのでしょうか残念です。障害者が地域で働けて自立できるように支援することは市の誇りであり、重要だと考えます。市独自だからこそ、地域の意見を取り入れ事業に即した対応ができるのです。だから地方行政が必要であるはずで。</p> <p>私は再就職支援の仕事を行っていますが、日雇い労働者やパートの方々がお金を払って職業訓練受けられません。訓練し再就職支援を行い生活を安定させる事で自立、地域社会が安定するわけです。それがセーフティネットです。自立出来るように支援することが行政の責任です。</p> <p>予算を削るだけではなく前向きな政策が必要です。働ける環境を提供していく事を同時にしなければ弱者切捨てといわれてもやむ終えないと思います。</p> <p>広く負担を求める方法や経費削減(無駄なものを削る)をどのくらいをもっときちんと検討していくべきです。削減は必要だが配慮も必要、慎重にそれが私の意見です。ご検討願います。</p>	「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。
117	障害	<p>箕面市に住む身障者の子供をもつ親です。子供は、これまで20数年間、市民の協力と市の助成金で運営されてきた豊能障害者労働センターで将来に希望を持って勤めてきました。この市民、行政一体となった社会的弱者・障害者に対する暖かい取り組みとその実績は市としても誇れるものだと思います。残念ながら、今回の緊急プランによる経費の一律削減は現在ぎりぎり運営されている豊能障害者労働センターの存続を不可能にし、前向きな障害者が自立できない弱者疎外の街づくりプランと思えてなりません。確かに市の財政赤字解消は重要な課題ですが、強者に譲歩を大きく求め、弱者に大きな負担をかけるメリハリのある改革素案を進めるべきです。</p> <p>緊急プラン素案にもある様に愛すべきまち箕面を次世代の子ども達に引き継ぐ持続可能な魅力あるまちづくりを実現するに際し、必ず生まれてくるであろう障害ある子ども達の為にも障害者援助システムの維持・増強するのが本来の姿ではないかと思えます。</p>	「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。
121	障害	<p>箕面市の財政不足解消の為、ある程度の補助金が削減されるのは仕方がないのかもしれませんが、その影響は弱者と言われている人達に大きくのしかかってきます。補助金が削減された分、障害者作業所や事業所などには事業の企画・運営面などのアドバイス等、色々なサポートをして下さい。</p>	「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。

No.	種別	意見	市の考え方
137	障害	<p>多くの資料・データを見て、改めて緊迫した財政難が分かる気がします。しかしながら、社会福祉機関にたずさわる、一職員からすれば、未来の子どもたちが安心して学び、育つ環境の確保と同様に、障害と共に地域生活を営む当事者が安心できる社会の再構築は重要視されているのか不安を感じます。結果的には総論賛成・各論反対と言う意見になります。税金が如何に無駄使いをされていたのか、一個人としても最も関心の高いところですが、ここに挙げられている資料の他にも、一般市民には見えない部分で、まだまだ税金の無駄使いがあるのではないかと感じます。</p> <p>間もなく障害者自立支援法の完全移行の期日がやってきます。自立支援法についても市、及び社会福祉関係機関を通じ何度も説明会がおこなわれましたが、福祉関係機関者を始めとし、当事者自身も自立支援法の内容、及び完全移行後のビジョンが見えているようで見えていないのが現実です。</p> <p>特に福祉事業所は補助金がバックにあって初めて様々な事業展開が可能なのではないでしょうか。障害と共に地域生活を送る当事者にとって、働く場とは、地域社会と繋がる場であり必要不可欠です。作業所利用者の工賃アップが難しい現実を、各事業所の努力不足と言われればそれまでですが、現在でも決して運営は楽でないことは十分ご理解頂けていると思います。更には、段階的に行われる補助金の削減は切実な問題です。まずは当事者が安心して働ける場の確保・維持のためにも、抑えられる支出は抑え、その分を福祉分野に補填できる細かなビジョンを作り、確実に発信して頂きたいと思います。勿論、分野別の福祉関係機関の意見及び要望は、今後さらに反映させて頂けるものと期待します。そのためにも、市は福祉の現場をもっと理解し、より深く知って頂きたいと思います。</p> <p>最後に、市有地の定期借地について、借地利用希望者(事業者)を募り、公平な判断又は抽選等の方法を駆使し利用をさせて頂きたく、又一般からも福祉機関に借地として提供できる物件の斡旋、並びに、情報提供ルートの確立をお願い致します。</p>	<p>市休地の活用方法については、福祉機関への貸付など様々な活用方法を検討していきます。</p>
138	障害	<p>私はこの箕面に移り住んで29年になります。たまたま近くに出来たということで障害者センターが始めたおでん屋さんで時折買いにいくようになりました。その頃はまだ数人の人達が裏の薄暗い民家を借りてやられてました。それ以来センターの経営するいくつかの店にも客として行くようになりました。少しずつ、少しずつ地道な努力を続けて今では働いている人の名前もなかなか覚えられないくらいに成長していかれました。はじめの何も分からない頃は障害を持った、気の毒な人達とそれを指導する人達がやってるんだというくらいの思いしかなかったと思います。でも20年以上の年月がそれをすこずつ変えていってくれました。今では生きていく上での仲間であり、そしてライバルでもあります。彼らの存在が、この箕面を私の(home)にしてくれました。今この日本、そして世界でたくさんの人達が働く場所をなくしています。それは人から収入を奪うと同時に、人としての尊厳も多くの場合奪うのではないのでしょうか？自分の能力をこの社会に役立て、そこから物心両面の生きる糧を得ていく、それが自立というものではないのでしょうか？その意志を持っている人を私たちの社会はそれをサポートしていく、それが日本国憲法のいう基本的人権の尊重ではないのでしょうか？福祉はある特定の人達の為だけのものではないと思います。なんらかのハンディを持った人を尊重するという事は、そうでない人、言い換えればすべての人を尊重するという事です。</p> <p>今回の緊急プランは、障害を持った人と、同じ職場で働く人、そしてそれと様々な形で関わってきた人達が長年築いてきた有形、無形の貴重なものを壊しかねないものと思います。どうか再考を御願います。</p>	<p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
151	障害	<p>倉田さんへ なんでこんなになったのかわからない。障害者にたいしてカットしないで下さい。箕面市のプランはんたいです。皆、たちは考えてほしい。箕面一人一人自立生活はどうするのですか？僕はゼロチームつくるのは、やめてほしい。</p>	<p>緊急プラン(素案)を撤回しても、問題の先送りに過ぎず、箕面市の財政問題や財源不足は解決しません。また、現在の経済不況の影響は、市町村へは税収のさらなる減少として1～2年後に現れてきます。だからこそできるだけ早い段階で対策を実行する必要があります。必要不可欠なセーフティネットや福祉・教育・都市環境などの根幹的な施策を持続・継続していくためにも、改革は避けて通れないものと考えます。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
152	障害	<p>「ゼロ試算」の中で、障害者雇用助成金制度がなくなることは、確認しました。けれどH21年度の1割カット、H23年度の2割カットの数字の前に私たち自身の存在はありません。存在し続けようとする努力は事業体として精一杯模索していますが、持ちこたえられる数字ではありません。みんなつぶれます。なぜつぶれるのか。私たちは誰も切らない。切れないからです。</p> <p>重度の障害者の働く場を産み出すべく、私たちはひとりひとりが生きる力を出しあい、働きあい、新しい障害を持つ仲間を迎え入れてきました。助成金を活力にし、事業を起こし、事業を展開していくことで、新しい障害者の雇用を産みだしてきました。</p> <p>今の社会の中では、必要な人間、必要ではない人間というものさしがあらゆる面で存在し、その中で、ひとは排除され、また排除されるかもしれないという危機感の中で生きています。あたりまえに働きくらす権利は、自己責任にすり換えられ、だからしかたがない、だからあきらめなさいと、個の責任に押しつけられています。排除して成り立たせようとする社会のいいわけを、私たちは社会のテーブルの真ん中にしっかりとのせたい。障害者が働きくらすということを、しっかりと社会化していくことによって、それは障害者だけではなく、あらゆる人の働きくらす権利につながっていくと考えます。</p> <p>私たちの生産性が低いのは確かです。けれどそれを社会が支え、働きあうカタチを応援すれば、私たちも社会の中に、しっかりと存在するべく知恵を出しあい、行動しています。この街で障害者が確かな暮らしを築くことで、消費が生まれ、障害者の働く場に投資したお金はまたこの街に還元されていきます。</p> <p>世界的に生きにくさ、働きにくさを抱えたひとびとが、事業を起こし、働き方を提案し、実践している団体を、社会が支え応援していく働きが広がっています。</p> <p>お金がないときだからこそ、十分踏まえたくて、ギアをノーマルにした素案をだされたのでしょうか。人が生きていくために、生きる政策をしっかりと打ち出してください。</p>	市の考え方
153	障害	<p>養護学校卒業後、息子は学校のすすめで或お弁当会社に就職しました。が、そこでは一人の人間として対応してもらえず、その上、仕事が出来ないからと母親の私に一月共に働く様にいわれ、無料で働かされました。やっと障害者センターと出会い、息子ははじめて一人の人間として対応してもらえる様になりました。救われました。差別なく、暖かく、大きな心でつき合ってください。</p> <p>健常者でも今やリストラで苦しんでおられる方が沢山おられます。障害者に働く場がなくなったらどうなるのでしょうか。多分、市はそんな事知らない、関係ないと横を向くのでしょうか。福祉問題に積極的にとりむと公約された議員やかつての議員がうちの近くにも何人かおられますが、障害者に対して決して暖かくありません。弱者なんか手に手をさしのべる、又心をむける余裕はないといわれるのでしょうか。</p> <p>毎年、又かと思う道路工事、こんなに何故必要なのかと思う議員数。私たちの税金をおかしいと思う事に使わないで下さい。弱者を悲しませないで下さい。</p>	<p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「市議会議員について、人数や報酬を見直すべき」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
154	障害	<p>労働センターにかかわりを持って5年余になる。当時15.6才だったかれらも40才過ぎただろうか？労働者センターの経営迄は立入らないが、彼等が互いに助け合って懸命に働いておられる。</p> <p>助成金に甘える事なく、“出来る者が出来る事”を互いに支え合って居られ、自治の精神で精一杯働いて居られる事にいつも頭が下がる思いです。”助成金を削らないで！”“下さい。彼等は、バザーや店舗、製作等、色々工夫をこらして、生きている姿を見て、老人の私は”どうぞ助成金を削らないで！”と、声を上げ、切に切に御願ひするのみです。</p> <p>彼等から笑みを奪わないで！</p> <p>労働センター歩みを見続けている老女より。(98才の母の代筆です)</p>	
156	障害	<p>4. 補助金の見直し NO.42, NO.43, NO.44 現状レベルを維持(金額的に) 増額は無理にしても、彼らは現状でも社会の底辺で精一杯ギリギリの生活をがんばっている。健常者も職業としてではなく、ボランティアに近い後援者である。素案通りに実行された場合、解散しか道はない。之は永年、文化都市として続けてきた真面の姿を失ふ。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
157	障害	<p>箕面市では、全国でも類を見ない障害者を雇用していくための事業展開と街づくりを市民と一緒にやって継続してきた自治体だと思います。</p> <p>財政減収が見込まれる事態が予想される中でも、市の独自性として障害者施策、障害者事業所・作業所への支援を継続することで、尚一層市民全体で知恵を出し合っていくことで、街の活性化が図られていきます。予算削減により雇用(障害者)の場を奪わないようにしましょう。</p> <p>箕面の街で生き生きと働いている障害者と言われる人たちの雇用が守られていくことを切に願います。箕面市独自の障害者施策の維持向上が不可欠です。</p> <p>障害者自立支援法では負担が増えるだけではなく、現実一般雇用がされにくい状況は改善されません。また、財政難に対して新たにふるさと納税が創設されました。そのシステムを障害者雇用事業者への支援として限定的に募るといった手段もあるかと思えます。</p> <p>その他公共事業及び市の備品購入に当たっては、障害者雇用率を達成している事業所もしくは障害者事業所等への支援を行っている事業所に限定するなど、障害者の雇用を促進するという姿勢を貫いていくべきと考えます。</p>	<p>平成21年4月創設したふるさと納税「みんなの箕面の緑の寄附金制度」のメニューには、高齢者や障害者が安心して暮らせるまちづくりの推進を設定しています。また、公共事業等に係る業者選定における総合評価入札制度については、今後調査・研究を行ってまいります。</p>
159	障害	<p>該当区分、1 3 7</p> <p>私は、障害者事業所で働いています。今回「緊急プラン素案」が出されたことで、とても不安を感じています。そして、いますぐ、この素案の私たち障害者にかかわる部分を考え直してください。</p> <p>私たち障害者は、一般の企業などで、働くことができない人がまだまだたくさんいます。学校を卒業してもほんの一握りの人しか働くことができないのが現状です。いろんな、しかくをとって仕事をしようとしても、障害のない人に比べてそれをいかして生活をつくっていくのはとても大変なことです。</p> <p>実際に、仕事がなくてぎりぎりの生活をしている人もたくさんいます。</p> <p>障害があることで、どれだけの人が一般の企業などで、ことわられているかご存知ですか？</p> <p>そんな中で、箕面市には障害者が生活していけるようにとたいへんな思いをして作った事業所や作業所があります。</p> <p>最初は、どこも助成金などにもなかったもので、最低の生活よりもっとたいへんな生活をしてきた人もたくさんいます。</p> <p>今でも、事業所や作業所を運営していくために、皆のきゅうりょうを出していくために、皆必死に働いています。</p> <p>そんな中で、事業所や作業所の助成金が減らされたら、運営していくことができなくなってしまうばかりでなく、私たちたくさんの障害者は、たちまち、生活もできなくなってしまいます。</p> <p>生活にかかわる部分以外でも削減できることはないのですか？箕面市民が、とりわけ私たち障害者が生活をしていくためのお金をたくさん取ったり、助成をへらしたりは、ぜったいしないでください。</p> <p>わたしたちは、生きていくことができなくなってしまいます。</p> <p>これいじょう、不安な生活はさせないでください。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
161	障害	<p>(全体について) 見直し対象の87項目以外に、市の支出で見直せるものがないかを市民に意見募集しきちんと再検討するべきではないでしょうか。私も含め多くの市民がこの87項目のみが対象になっていることに違和感を持っており、このままでは逆に議論が散漫になってしまいます。</p> <p>(情報公開について) 緊急プラン素案も含め、今後出される情報については、市民、とりわけ情報弱者へも十分に配慮し、きめ細かな周知を行ってください。また、見直しの具体的な中身がわからない中では意見が出せず、「総論賛成各論反対」になってしまいます。具体的な見直しの中身、市としての考え方、どういった影響が想定されるかを示してください。その上で市民としっかり議論する機会を設けてください。</p> <p>(ゼロ試算の来年度予算への反映について) 現時点で市民への周知も不十分であり、実態としての市民生活への影響も十分に把握・検証されないまま、高齢者・障害者・子育て世帯、とりわけ低所得者層にとって負担が大きいセーフティネットに関わるものについて、ゼロ試算の内容を来年度予算へと反映させることはあまりにも拙速です。これでは安易な「弱者切り捨て」と市民の目に映っても仕方ありません。「人権宣言のまち」として慎重な対応を強く要望します。</p> <p>(水道料福祉減免の廃止について) 水道料福祉減免がどういう主旨で行われているのか説明してください。低所得者への対策ということであれば、現在の減免の対象者を障害の等級や年金手当て受給の有無のみによって決めるのではなく、対象を低所得者層へ見直すべきだと思います。</p> <p>(障害者事業所の助成金のカットについて) 箕面市の障害者事業所制度、最も就労困難な障害者への雇用政策に自治体として、早くから取り組み、大きな成果を挙げてきました。残念ながら障害者自立支援法の就労継続支援も障害者の所得保障につながるような制度にはなっていません。不況により、雇用の悪化が進む中でむしろこうした雇用政策の必要性、重要性は増しております。市単独の制度であるから、削減するという安易な方向ではなく、この制度が維持発展するべく普遍化に向けて、国、大阪府などに働きかけを行うことやコストのあまり生じない事業面での支援策の検討等、前向きな方向で進めていただきたいと思っております。助成金のカットは、現状では障害者の最低賃金を保障できない事業所が出てくるため、事業所の存続そのものに影響が出ます。まず、実際に障害者が働く現場を倉田市長や行政の方に視察していただきたいと思っております。</p> <p>(福祉予約バスの見直しについて) 私は箕面市のNPOで移動困難者の市民参加型送迎サービス(福祉有償運送)に携わっています。そして、私自身、車いすを使用する重度障害者です。そうした立場から福祉予約バスの見直しについて、意見させていただきます。現在、利用対象者に所得制限を設けことなどが想定されているようですが、私は事業規模をただ単に縮小する前に、行政と市民が協働する事で、現在の福祉予約バスのかなりの部分を市民参加型の福祉有償運送にシフトすることを進めていただきたいと思っています。現在、全国各地で地域住民が担う、福祉有償運送は注目を浴びつつあります。利点として、増大する移動困難者のニーズに応える上でコスト面での効果はもちろんです。地域力の再生、災害時等の緊急時へ備えなど、様々挙げられています。10年前ならいざ知らず、財政難の折、移送サービスをコストの高いタクシー業者だけに頼る必然性は今や薄れています。限られた予算であっても市民が運転する小型車(コストのかかる大型車は多くの移動困難者にとっては必要ありません)がキビキビと街中を走りまわり、人と人がつながり合い支えあっていく、そんな街を思い描くことは可能だと思います。これは倉田市長のまちづくりの理念ともあい通じるものではないでしょうか。しかし、私たちも含め、全国的にもこの事業は採算性が非常に低いため、伸び悩んでいるところが多いのが現状です。自治体が市民活動を後押しすることで一定の成果をあげている事例として、大阪府枚方市や東京都の多くの自治体、箕面市と人口規模も近い東京都武蔵野市のレモンキャブなどの事例もあります。箕面市でも、是非、これらの取り組みも参考に、交通セーフティネットの再構築について、幅広い視野から検討していただきたいと思っております。</p>	<p>「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる。」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p> <p>「拙速・性急すぎる、突発的に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p> <p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>(86) 上下水道料金の福祉減免については、一般会計の負担を廃止し、平成21年度は上下水道事業会計で負担します。今後、福祉減免のあり方を検討していきます。</p> <p>(25) 福祉予約バスについては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく地域公共交通活性化協議会による市内バス路線網の整備・充実、公共施設巡回福祉バス(Mバス)のあり方検討の動向を踏まえ、福祉有償運送やその他の移動支援サービスと併せて、今後の事業のあり方について、平成23年度に向けて研究・検討をしていきます。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
168	障害	<p>「意見」</p> <p>・箕面市に住むものとして市の経常収支比率が100%以下になることには多に賛成するものです。そのため市行政と市民がともに協力すること、努力すべきと考えます。</p> <p>そういう基本に立って今回出されたチームゼロの「緊急プラン(素案)」についてはいろいろ思うところがあります。</p> <p>まず、年末年始をはさんでいるにも関わらず、締め切りがぎりぎり1ヶ月では市民に充分意見を聞けるとは思いません。来年度予算の策定期間とはいえ、行政の都合が先行しています。2009年4月に間に合わそうと言うことにまず無理があると思います。問題の先送りはダメですが、市が市民への説明責任を考えるなら、検討するための時間が必要です。</p> <p>スピードアップは必要ですが、過ぎることは良い結果につながりません。</p> <p>その上で、900事業をゼロからフラットな立場で見直したと言われても、やはり納得のいかないところが多々あります。</p> <p>ゼロから見直したのなら、なぜ概ねの事業が1割・2割という同率なのか、事業の費用が少し削減されてもどうか可能なもの(例えば箕面まつり等)と、障害者団体関連の運営補助や、保育所関連の費用が2009年の4月から削減を実施するという早急な案に驚きと共に、市は市民の良きパートナーではなかったのかという思いがします。</p> <p>箕面市の市民という言葉の中に「高齢者」も「障害者」もさまざまな方が含まれている、と常々思っています。特に箕面市の市民と書くのは今までの市との議論の中で、箕面市の障害者施策は障害者も一人の消費者として生活者としてまちで生活していけるための就労問題にずーと取り組んできたからです。そのために障害のある人もない人もお互いを認め合い協力し、苦労もともにしているのです。今もこれからも支援が必要です。財政難の中で補助金カットの話はどのように工夫していけばよいか思案・検討しているところです。</p> <p>今即削減ありきでは、団体の存続すら危ぶまれます。</p> <p>障害者団体と市とで検討会を進めている最中です。</p> <p>何も努力もしないでいる訳ではありません。</p> <p>とるべき費用は提案し、支援すべきところには支援すると言うメリハリをつけるべきです。</p> <p>再度検討・見直しをされることを要望します。</p>	<p>「拙速・性急すぎる、突発的に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p> <p>「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか? もっと他にも改革すべき事業があるのでは?」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
171	障害	<p>42, 43, 44について。</p> <p>障害児が学校卒業後、友達とも交流が無くなり地域との係わりも無いなかで、豊能障害者労働センターは、障害のある人もない人も共に働き給料を分け合うとゆう事で、皆一生けん命、働き考え、事業を広げて地域の人と交流してきました。色々なイベントを催し、市民も楽しみにしています。障害者本人も働いて給料をもらう喜び、そのお金を何かに使う。</p> <p>本当に働くのが好きです。お店やイベントで顔見知りになった人と街で出会ってニッコリ。そんな当たり前の生活が助成金1割、2割、カットされるとやって行けません。</p> <p>障害者の働く場が無くなります。新しく学校を卒業して就職したい障害者の働く場が無くなります。本当に弱い立場の、当たり前の生活を奪わないでほしいと思います。</p> <p>豊能障害者労働センターの行って来た25年は大きく評価されるべきです。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
195	障害	<p>42～44番の補助金削減案について 補助金と活動収入で運営生活費を賅っている中で、生活費を下げる事が不可能に近く運営が出来なくなる可能性が大了。そうなると多くの人が働く場と収入を無くしてしまいます。多くの人々の善意にささえられてようやく成り立っている事業所に削減分を何とか出来る余裕があるはずもなく、働く場を無くしたら、こんな時代他の仕事につける事もむづかしいでしょう。結果、生活保護を受けざるを得ない人が増えたりすればかえってマイナスになる事も予想されます。</p> <p>市職員の方、削減案を考えておられる方々、まずご自分の取り分を1割2割削減する事からはじめてみてはいかがでしょうか。一般企業の世界も数年来給料が下がり、ボーナスもない現状です。今一度見直しをお願いします。</p>	<p>(7)市職員の給与は、人事院や大阪府人事委員会による職種別民間給与実態調査結果とそれに基づく勧告内容により見直し給与改定を行っています。また、これら勧告を踏まえた給与改定に加えて、本市の財政状況等を考慮して、市独自に給料月額・期末勤勉手当のカット、昇給の停止(12ヵ月先送り)などの取り組みを実施したほか、年功的な給与構造の見直し(給与カーブのフラット化)により給料表の平均6.9%引き下げなどを行い、平成19年4月現在の給料水準を計るラスパイレズ指数(国家公務員を100とした指数)が99.2(府内市では15番目の水準)となっています。</p> <p>さらに、平成21年1月からは、職員給料・職員手当カット(管理職4.5%削減、管理職以外4%削減)を実施しましたが、引き続き、極めて厳しい財政状況であることから民間給与の調査結果等も踏まえながら、人件費の抑制を進めていきます。</p> <p>また、職員手当については、国家公務員や近隣自治体における給与制度、民間給与との均衡等を基本に制度化していますが、社会情勢の変遷や財政事情などを踏まえて、住居手当の一律カット、通勤手当の支給基準の引き下げ、特殊勤務手当の22手当から15手当への削減と単価の引き下げ、また、退職手当の支給率の引き下げと退職時特別昇給の廃止など諸手当全般にわたり見直し・削減を順次実施してきました。今後も、引き続き、手当の種類、額及び支給基準などを必要に応じて見直し、適正化を図っていきます。</p> <p>職員数については、これまでアウトソーシング(外部委託)や指定管理者制度の活用、任期付職員制度の導入と活用などを通じて削減を進めており、平成13年度の1,696人から、平成20年度には1,482人(214人削減・12.6%減)となっています。今後、大量退職の時期の到来も見すえて、民間委託や臨時職員などを活用しながらの職員数の適正化が必要と考えています。</p>
196	障害	<p>倉田市長をお願いします。</p> <p>私の息子を含む沢山の障害を持った人達が働いています豊能障害者労働センターの助成金カットをどうか見直してくださいよう、切にお願い致します。</p> <p>息子は知的障害とてんかん発作のある27才です。今も少ない時で月に数回、多い時で10回近く前ぶれもなく発作があり倒れています。もちろん治療であらゆる方法を試みていますが発作は止められません。</p> <p>そんな状況でも豊能障害者労働センターでは受け入れてくださり、発作で失禁しても着替えさせてそのまま様子を見て、帰りも送ってくださいます。このように臨機応変に対応して受け入れてくれる働く場所は他にありません。ここがなくなれば、家にひきこもり生きる希望もなく生活していかなくてはなりません。たまたま障害を持って生まれた子供達を助けてください。</p> <p>沢山の優しいスタッフや仲間にも広くあたたかい心で見守られ、できるだけ普通に近い状態で働き生活できる、そんな生き方をどうか子供達に与えてくださいますよう、心からお願い申し上げます。</p>	
199	障害	<p>労センがバザーをしている前の歯科医院で勤めている者です。</p> <p>月に一度行われているバザーを楽しみにしています。なぜなら、普段人通りの少ない歩道(公園)にバザーのある日は人が集い活気づいているからです。ふと外を見た時に公園で労センの人達が楽しそうに町の人達とふれあっているのを見ると、とても暖かい気持ちになります。この活動を楽しみにしている人達は沢山いると思います。労センの人達が行っているバザーをなくさないでほしいというのが私たち歯科医院スタッフ一同の願いです。</p>	
203	障害	<p>私は学校卒業以来、豊能障害者労働センターで働いています。助成金なくなると、つとめ先がつぶれてしまいます。</p>	
204	障害	<p>労働センターがもしつぶれたらわたしはこまるので、つぶれたらいやだし、みんなの給りょうがもらえなくなったら、ろうどうセンターのお金をはらえないので、かなしくなる。ろうどうセンターはおおきなごとはだから、つぶれたらいやだなともう。みんながこれなくなったら、いくところがない。わたしはグループホームにはいたくないです。</p>	
205	障害	<p>給料へったらいや。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
206	障害	ぼくは、ろうどうセンターに10年くらいいます。もしろうどうセンターがつぶれたら、しごとができないということになるので、それだけはさけたいと思っています。それはほかのひともいっしょだと思う。	
207	障害	もっと大切にします。もっと大事にします。ちゃんと約束守ります。みんなの言う事聞きます。	
210	障害	NO.153と重複	
211	障害	僕は以前に一般の会社に勤めてましたけど、リストラにあい倒産になりました。それから今の事業所、障害者と健常者が共に働く場、豊能障害者労働センターにであってお世話になることになりました。自立をめざしてちゃんと給料をもらって、あたりまえに自立をして、てだすけする所です。その事業所がなくなれば、僕たち障害をもった人たちが行き場をうしないます。僕は前に勤めていた会社で、自立生活のことじたいが考えもしなかったけど、今の職場は給料をちゃんともらって自立をして行く所です。それがなくなれば、自立どころか生活をやっていけなくなります。どうか最低でも働く場や自立生活をやって行く賃金を保障してください。お願いします。	
212	障害	しごとをがんばります。しごとをしながら給料がへるのはいやです。労働センターがこまる。みんながこまることです。	
217	障害	人として生まれた以上、障害があってもその人を否定しては豊かな箕面市と言えない。みんな人間だから、財源不足は良くわかっています。	
219	障害	箕面市の誇りである障害者事業所制度を是非、維持・発展させてください。 職場で同僚とともに汗を流し、事業を生み出していく。職場の緊張感をともに味わい、人としての充実感を得る。そこで得た所得で自分の生活を営む。そんな、人としてあたりまえのことが、重度の障害があると一生味わえないのでしょうか。重度の障害者が一般の職場から排除されている今、一生、山奥の施設でリタイアの生活をおくるのか、街に暮らしても子ども扱いされる、そんな生活をおくるしかないのでしょうか。働くことで地域に参加する、そんなあたりまえのことを実現するために箕面市の単費の障害者事業所制度は生まれました。最低賃金の4分の3を賃金補填することで、どんなに重度の障害のある人もない人とともに対等に事業に参加する機会を生み出します。そして、4分の1以上の事業収益を市民の支援を得ながら、ともに生み出します(最低賃金は、現在、週30時間勤務で、月約9万円です)。もちろんこの賃金補填は、箕面市民の大切な税金により支払われます。そして、そのことは、働くこと、お互いに支えること、この両立である豊かさを市民全体で守り育てようということであると思うのです。 一方で、国の自立支援法によりお金の一部を引っ張ってこようという議論もあります。しかし、そこで支出されるお金は、障害のある人もない人もともに参加する豊かな地域づくりにつながるでしょうか。残念ながら、国から「福祉」という名目で支出されるお金は、市民が障害者と支え合う機会を生み出すのではなく、支援することを専門家に任せ、市民の税金はその支援者の給料に使われ、設備に使われ、設備は立派になります。しかし、障害のある人となない人は、いつまでたっても同じ土俵に立つことはできません。結果、障害者ひとりあたり月10万円以上助成する国の制度でも、重度の障害者の手にのるお金は、全国平均で月1.5万円に過ぎません。 私たちが、この箕面の街で、本当にしんどい立場に立たされたときにしっかりと支えてくれるセーフティーネットが大切であることは言うまでもありません。そして、さらに進んで、障害者を含め、市民ひとりひとりが自分の足で立ち、相互に支え合う、そのことを積極的にすすめるセーフティーネットが必要なのだと思います。それは、本当に豊かな街箕面を実現するための大切な投資だと思います。箕面市の障害者事業所制度は、その積極的セーフティーネットの一つです。是非、大切に守り育ててほしいと思います。	

No.	種別	意見	市の考え方
235	障害	私は豊能労センで24年間働いている。箕面市の雇用助成金があったから、いろんなことができ仲間が増え地域になじんでいると思う。 1割カットに勝つには13ヵ月働くことになるし、あたりまえの12ヵ月閉店せざるを得ない 箕面市が人権宣言をし、働く人権、働く場に投資した歴史を、みらいの子供達に、差別のない、格差を作らない、対等な型を目指している障害者団体もあることを啓発していく為にも、無駄なお金じゃないと思う。世界の中のひとつ、1人1人が生き生きとくらしている街箕面であって欲しい。 フラットな素案というならば素案からはずすことが正論であると感じる。なぜなら障害者手帳を返却できない、差別が後を絶たないから。	
236	障害	僕は箕面市は障害者に理解があり、住みやすい町だと今まで思っていました。そして僕は高校を卒業して箕面で働き、暮らしたいと思い、作業所ZEROの家で働くことになりました。ZEROの家は僕が望んでいたように地域の人達にリサイクルの物を提供し、安く売り、そこには地域の人達との暖かい交流があります。そして、僕達にも工賃がもらえ、生活していくことができます。僕は、重度の車イス障害者なので、一般の企業で働くことも、箕面にある障害者事業団(重度身体障害者の募集がない)で働くこともできません。ZEROの家はそんな僕達にとってとてもありがたいところです。そして、このZEROの家は、箕面東部には作業所がなく、障害者が市民に見えない、理解してもらえないと思い、僕が四中を卒業する時、先生・障害者・親達が800万円を集め作りました。同じ作業所でも、思いと、働く場所だという理念がそこにはあります。是非、作業所の制度を箕面には残してください。そして、23才の時、あかつき福祉会のグループホームに入る事もできました。これも僕が高校生の時から望んでいた事です。僕はグループホームも地域にとけ込み、地域の人達とも交流があるのを望んでいます。そして、箕面で人間らしい生活をしていく為にも、重度障害者の働く場、生活の場を今までどおりしておいて下さい。市長、お願いします！(母代筆)	
237	障害	私の子供は箕面に住む重度障害者です。現在、ZEROの家の作業所で働き、あかつき福祉会のケアホームで生活しています。これから親がいなくなってもこの箕面市で人間らしく障害者である子供が暮らしていけるように望んでいます。 自立支援法が始まり、サービスを使うと負担がかかるようになりました。身体障害者は車イス・電動車イスを作るのにも1割負担、ケアホーム、入浴介護、ガイドヘルプ、リハビリ等。(市民病院へ月2回リハビリに通っています。電動車イスで1人で巡回バスに乗り、帰りは予約バスで帰ってきています) 9障害者医療費助成事業25福祉予約バス運行事業42障害者福祉作業所運営補助金53公共施設貸館使用料減免の見直し 残して下さい！ どうか弱者である重度障害者に改革という削減のメスを入れないで下さい！	(9)医療費自体に対する助成は、これまでどおり実施します。一方入院いかに関わらず、生活の中で当然に必要な食費について、健康保険制度における食費負担の考え方にあわせて、これまで市単独で実施していた入院時の食費助成分を平成21年11月から廃止します。これにより、市の経常的な支出を年間約2,000万円圧縮することができ、入院するかと在宅で治療されるかとの負担の均衡が図られます。なお、健康保険制度により、低所得者への配慮から軽減措置が設けられているため、自己負担額は所得や年齢に応じて1食あたり100円～260円となります。 (25)福祉予約バスについては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく地域公共交通活性化協議会による市内バス路線網の整備・充実、公共施設巡回福祉バス(Mバス)のあり方検討の動向を踏まえ、福祉有償運送やその他の移動支援サービスと併せて、今後の事業のあり方について、平成23年度に向けて研究・検討をしていきます。 (53)本市では、市民の自主的な活動を支援するため、公民館をはじめ生涯学習センター、コミュニティセンターなどを整備し、これら公共施設の使用料を民間施設と比較して安価に設定してきました。しかし、施設の維持管理経費や修繕費が増加し、市の財政負担が重くなっていることもあり、公共施設の安定的かつ快適な市民利用を継続するため、使用料の見直しを行う必要があるものと認識しています。使用料の見直しにあたっては、利用者の著しい負担とならないよう、他市の状況も考慮しながら、平成22年度に向け十分に検討していきます。 (55)公共施設使用料の減免制度は、生涯学習活動や文化活動などの自主的・社会的活動を支援するために制度化しているものです。本市では、他の自治体と比較して活発な自主的・社会的活動が行われており、減免制度の効果があつたものと認識しています。しかし、平成12年に減免制度の見直しを行い、それから相当期間を経過しており、減免のあり方を検討していく時期であると考えています。一方、活動支援が必要な障害者の文化活動など減免制度の見直しにあたっては、様々な視点から考慮していきたいと考えています。
241	障害	助成金をカットされると健常者の給与もカットされ、仕事が続けられなくなると思います。益利だけを目的としての事業所にならない為にも助成金のカットは止めて欲しいと考えます。	
242	障害	助成金を現状のままで続行して欲しい。	

No.	種別	意見	市の考え方
252	障害	市内中学校で障害のある生徒たちとの関わりを大切に仕事をしてきました。その間に社会の受け入れ状況は大きく変わり、障害のある人たちを含め、社会的弱者と呼ばれる人たちの社会参加は広がってきたと思います。なかでも箕面市は「市民と協働」の理念のもと、障害のある人たちの特に「就労」に関して先進的な事業や施策をとってこられました。私はこの箕面でよかったと思うことばかりでした。障害のある生徒やその家族とともに未来(将来)を考えることができたからです。 障害のある人たちにもお金を使ってもらえるよう、そのことで経済が少しでも元気にまわっていくよう、障害者の雇用を守る、広げる箕面市独自の事業にしっかりと予算をつけていただきたいと思います。 「子育てのしやすさ」は、子どもの将来が夢が語れてこそであると考えます。すべての子どもたちの「将来」が箕面市で語れますよう教育に関わる予算もよろしくお考えいただきたい。	
261	障害	財政難ということで助成金がけずりとられる。これは、障害者やその事業所にとって生命線を切られるのと同じことです。 (社会的)弱者が生き生きと暮らすことのできる町や市は、その国にとって大きな夢を与えます。しかし、現在の夢のない、平和のない社会は我が国の政治の状況に表れていると思います。 最も困難なところに、最も弱いところに目を向け、いかにするかが政治の役割ですが、現日本にはそんな政治家はいませんネ。自分のことだけを考える政治屋はありますが。	「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。
264	障害	箕面市緊急プランと資料を拝見し、箕面市の財政状況が不健全な状態にあることは理解できましたが、生活弱者の日々の生活に直接影響を及ぼす予算の削減は何とか回避して欲しいと思います。 掲げられているメニューは社会的弱者に影響する内容ばかりが並んでいるように感じられてしまいます。箕面市は社会的弱者・生活弱者を市内から追い出そうとしているのではないかと感じてしまいます。 私の息子は生まれながらに障害を持ち養護学校を卒業して10年近く作業所に通っています。同僚や作業所のスタッフの方々の日々の関わりの中で成長し、担当する仕事に対する責任感や自立心も芽生え、近隣の人とも挨拶が出来るようになり、しっかりと成長してきたように思えます。息子にとって作業所での生活は生きる楽しみと充実感を感じる事の出来る正に生きがいとなっています。 しかしながら、入所当時から作業所の収支は苦しく、健康スタッフと障害者の家族を含む大勢のボランティアが毎年数多くのバザーを開き、その収益と箕面市からの補助金のおかげで何とか維持できてきたのだと思います。 皆が障害者の自立した生活の実現の為に一生懸命です。 市の補助金受給資格を得る為には、作業所は大阪府が定めた最低限の時給賃金を支払わなければならないそうで、足りない時間やバザーなどはボランティアで働いている状態です。このような状況の中で補助金が削減されると作業所の運営そのものが成り立って行かなくなるのは明白です。 不景気の中で年々バザーの収益が下がり続け、その分開催回数を増やし、経費を切詰め何とか運営している作業所には補助金の削減は死活問題です。 自治体の責任として、生活弱者の切捨ては回避して頂きたいと思います。	「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。
267	障害	箕面市は弱者を皆で助け合う市だから現在住んでいます。私の息子は障害者ですが皆様の協力得て、毎日元気で仕事に頑張っています。私も転職をして給料は半減しました。でも息子の頑張りでどうにか私も頑張って、辛い仕事も頑張れるのです。箕面市長の所信演説で障害のある人もない人も誰もが安心して生活している優しい町を目指しているのならば、これ以上補助金や助成金をへらさないで下さい。	
268	障害	娘が障害者福祉作業所に通っていますが、毎年補助金をもらってぎりぎりの運営です。案ではH23年からH24年にかけては倍額になっていますが、21年22年の運営が出来ず、つぶれてしまったら、H23年から補助金が入っても意味がありません。毎年コンスタントに補助金が出るように考えなおして下さい。	

No.	種別	意見	市の考え方
273	障害	どうして弱者からきりはなそうとするのですか。私達は障害があり、一般就労はむずかしいとしている者達です。ハローワークに行ってもまともに対応すらしてもらえないのが現実です。一人一人の人間には同じ命の重みがあり、それを能力別に分類していくのはひとつの差別だと思います。同じ空気をすって食べて働いて自分のお金で生活したい。自ら働いて生きていきたいですごく思います。そのためにはどうしたらいいかそれを一緒に考えてほしいんです。強いとはお金がするとか権力があるとかそういうものじゃないと私は思います。本当の強さは気付いていない所にかくされた真実だと思います。弱さとは楽な方へ流されていくこと。でもこのまま流されてしまえば私達の行く先は大体しぼられてしまう人です。弱者と強者が支えあって本当の意味で差別でなく区別でなく共に協同する(できる)社会をつくる。理想かもしれない、笑い話かもしれない、でもしんどいって思いながら苦しむより一緒に支えあって小さな社会(箕面)を新しく作ってそれを全国へ発信させる。同じやるなら誰もまだやってみてないことに一緒に挑戦してみませんか？絶対にやりがいも達成感もあると思う。常識をやぶって共に生きる社会作り、一緒にやってみませんか。	
275	障害	箕面市直営のお弁当屋設立 事業所、作業所のメンバー昼食及び夕食作り当事者も参加する方向で雇用率を上げる。市設備あき厨房(松寿荘)を利用して就労と実務を兼ねる。みのおは人口に対して活発に行政、市民がやってきた。働く障害者市民日本一を目指し今後も取組んで頂きたい。生きる権利、働く権利etc社会参加最優先でお願いしたい。	障害者雇用の拡大という目的があったとしても、市が「お弁当屋」という特定の営利業種に参入することは、民業圧迫の観点から難しいと考えますが、事業所や作業所が販売する製品については庁内外にPRし、販路拡大を支援していきます。
277	障害	私は箕面市にある豊能障害者労働センターで働いている精神障害者3級の障害者です(54才)市からの助成金の削減などされたら今の生活が出来なくなります。どうかそういう事のないようお願い申し上げます。	
278	障害	豊能障害者労働センターがお金がなくなったら僕達が仕事が出来なくなる。早く自立したいが、自立支援法があるので自立が出来ない。	
279	障害	難しいことは言えませんが、今障害者の皆さんと一緒に働く者としてここ2年間は助成金が1割カット、それからは2割カットとなるみたいですが、やむなく削減されたとしても、その削減されたお金の使いみちの明記をお願いしたいです。すべて同じカット額ではなく、その所々に見合ったカット額とはいかないものでしょうか。大きな差はあると思いますので。 それと別な件ですが、昨年より誕生月健康診断の基本検診が有料になりましたがおかしいとおもいます。血液審査や血圧など基本的なものが有料になり、届いていた用紙もなくなり、ますます行かない人が多くなっているのも現状です。これは最低限してほしいと願います。 自分でおかしいと病院に行った時は手遅れの場合が多いのでもとにもどして下さい。どうかよろしく願います。	平成20年4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」の施行により、誕生月健診のうち血液検査などを行う基本健康診査の実施主体が変更になりました。 今までは、全て市で実施していたため全て無料でしたが、平成20年4月以降は健康保険被保険者証を発行している医療保健者が実施主体となり、料金も個々実施主体により定められるため、有料の場合もあります。

No.	種別	意見	市の考え方
280	障害	<p>箕面市が他市に誇れる43障害者雇用助成補助金の21,22年度10%、23から25年度20% (合計86,712千円)削減案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員よりはるかに低額の障害者並びに援助者を含む健常者の賃金カットに直結する障害者雇用助成補助金の削減の痛みは、市職員の賃金カットの痛みよりはるかに大きい。 ・現行、障害者には最低賃金の75%相当の補助金が支給されているが、平成21年,22年度は67.5%、平成23年度以降60%相当に減額される。最低賃金に満たない部分を稼ぎ出すことは現在の厳しい経済情勢下では極めて困難であり、障害者並びに健常者の賃金の削減により収支バランスをはからざるを得ない。 ・事業所は障害者、専従の健常者、パートタイマー、ボランティアと多くの支援者により運営されているが、なんといっても事業経営の中核となる熱心かつ有能な専従健常者の力が大きい。中核となる熱心かつ有能な専従健常者の賃金が額面年収200万円前後である。この人たちの賃金も削減せざるを得なくなる。この人たちにも生活がある。中核となる人を失えば、事業所経営は崩壊しかねない。 ・事業所が崩壊すれば障害者、健常者ともに職を失うことになる。健常者でも職を得ることは容易ではないが、障害者のハードルは非常に高い。職を失い自立が不能になり生活保護を受けることになれば本人の活力が失われるだけではなく、行政の負担額は増大するのではないか。 ・社会的弱者に対するセーフティネットの整備は公共の役割である。 ・「弱者の生活を脅かす虞れがある」のは、「負担力のあるものに負担を求める」「有れば助かるが無くても辛抱できるサービスを切り捨てる」とは性質が異なる。 	
281	障害	<p>現在29才の息子は障害者で豊能障害者労働センターに行っています。箕面手をつなぐ親の会にも入っています。今いろんな意味で生きていくことの困難な時に、障害の息子が労働センターと言う働く場所へ行けることに感謝しています。今回緊急プランに接してもおどろいています。</p> <p>(42)「障害者福祉作業所運営補助金」(43)「障害者雇用助成補助金」(44)「小規模通所授産施設運営補助金」このプランが通るようなことがあれば労働センターはたちまち運営の危機に陥ることと思います。もちろん他の事業所や作業所も同じだと思います。</p> <p>他の事業所や作業所も同じですが、労働センターの専従者の方々は本当によく働いて下さっています。労働条件などはお世辞にもいいとは言えない中、障害をもった人達をサポートしながら本当によくがんばって下さっています。補助金削減によってこういった専従の人たちをなくしかねないのではないのでしょうか。</p> <p>障害をもった人が、行く場所、働く場所がどんなに必要かって言うことをわかってほしいです。どうか事業所や作業所がつぶれないようお力をお貸し下さいますようお願い申し上げます。</p>	
282	障害	<p>No42.No43.No44に関する各補助金の削減について</p> <p>市の財政状況については、理解できるが赤字対策としての各種補助金の削減には反対です。</p> <p>障害をもつ子供を持つ親にとって彼の将来を考えると自立生活が夢であります。私の息子は豊能障害者労働センターでお世話になっています。当センターにとっては、市の補助金は正に命であります。むしろ増額を要望したい位の思いであります。地域に根付いた活動を通して細々と頑張っております。世間は差別のない社会と口ではいいいますが、現実はずいぶん違います。でも一生懸命努力し支え合いながら生き抜いていくことが必要と感じます。</p> <p>市の財政改革については、弱いものいじめの施策ではなく、民間委託の活用、むだの徹底削減等、他の市町村のやり方の調査していけば良いのではないのでしょうか。</p>	<p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
283	障害	<p>豊能障害者労働センターに通う障害者スタッフの息子(33才)をもつ母親です。選挙の際、倉田さんなら弱者の立場を理解して下さるものと信じ、家族で一票を投じました。ところが、今回のプランが出され、おどろきました。</p> <p>(障害者)事業所助成金、作業所助成金が1割～2割カットされるとの案！「障害のある人もない人も平等に参加して事業を運営していく」という理念をもつ人達が、こつこつと25年以上かかって積み上げ、やっと今に至っている状況です。支えてくれたスタッフの苦難と努力をずっと見てきた私達は、この活動がくずれてしまうのではという耐え難い不安と恐怖で一夜も眠れません。障害者が「地域で働き、暮らしていく」このあたりまえの事が脅かされ、息子達の行き場が失われることへの不安、おわかりですか？親が年老いていく中、息子の将来を考えると、私達にいったい何が出来るのか、病気をしたらどうしようと苦悩する毎日です。お願いします！！</p> <p>市の財政状況はわかります、が職員の4%給与カットとは痛みの重さが全く違います。障害者の働く場をうばわないで下さい。障害者、高齢者も含めて、弱者の立場になって考えて下さい！</p> <p>もっと他に無駄使いや削減すべき箇所があるのでないでしょうか？</p>	<p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？ もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
284	障害	<p>私は視覚障害の方のボランティアをさせていただいています。障害を持っている人の日常生活における不便さや不自由さ(不幸という事ではありません)は、はた目にも大変なものです。</p> <p>まず視覚障害の方の場合だと、どこへでも1人で行けるわけでは無いので、例えばコンサートに行きたいとなると、ヘルパーさんかボランティアの分までチケットを用意しなくてははいけません。時には食事代が必要な時もあります。とにかくお金が人より「倍」かかってしまいます。</p> <p>「障害を持ってしまった」事はその人の責任では無くても不便さと不自由さは10倍位になってしまいます。自立の手段として豊能障害者労働センターの方々はバザーを開かれています、百均とかユニクロとか、ちまたに安い商品が出ているのでその運営もなかなか厳しい現実があります。普通の生活が出来る人への助成金は削除しても障害を持ってしまった人への削減はやめてほしいと思います。よろしくお願います。</p>	
286	障害	<p>市の財政もあちらこちら予算を削られてる事は承知しておりますが、障害福祉の予算削減は、障害者雇用に尽力している人達にとって何よりも耐えがたいことです。行政の役目を民間で細々と力を合わせて頑張っている弱い立場の人間の事を悲しませないで欲しいです！！</p>	
288	障害	<p>箕面市が市民と作り上げた「障害者が働く」という理念はどこにいったか考えざるをえない緊急プランである。箕面市は障害者に対して働くなといっているのか。人権人権と言っておきながら、障害者の労働権利はなくすと書いてあるようなものだ。人間がちゃんと人として生きていける政策を考えて欲しい。</p>	
376	障害	<p>小規模通所授産施設運営補助金について、ある程度の補助金の削減は、やむを得ない面もあるが、職員人員の確保や、利用者への質の高いサービス(ケア)を求めるのであれば、これ程までの削減は運営上厳しい状態になることはご理解頂きたい。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
383	障害	<p>ゼロ試算87項目は弱い立場の人達(子育て中世帯、母子・老人・障害者世帯)への削減がたくさんあり、おかしいと思う。もっと手をつけて削減するところがあるはず。箕面市議会議員の定数減、給料カットの項目がないのはおかしい。不況で民間の企業、給料(2割カットなんて当たり前)です。87項目の中で、特に</p> <p>27番、在宅ケアセンターは重要な役割です。カットしないで。</p> <p>38番、あかつき福祉会補助金、ショートステイ移転しても重度の人達のショートステイ利用は経費がかかります。地域で生活する障害者のいる家庭にとって、ショートステイの重要性は大きいです。ショートステイ利用は緊急時利用だけでなく、将来、どんなに重度でも親から離れて生活するための役割も果たしています。</p> <p>39、42、43、44番も同様に、補助金カットしないでほしい。</p>	<p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「市議会議員について、人数や報酬を見直すべき」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>(27) 在宅ケアセンターは、相談支援の総合拠点として、また、障害者の在宅福祉サービスのケアマネジメント、その他地域で生活する障害者へ一貫した支援を行っていく役割を担うセンターとして設置しており、現在箕面市社会福祉協議会に運営を委託しています。少子高齢化の進展により福祉サービスへのニーズは膨らむ一方、本市の財政状況が危機的な状況にあることなどから、これまでの人員配置や運営体制の見直しを図ることで、効率的・効果的な事業の実施が必要です。今後も引き続き委託内容を見直し、市民サービスの低下をきたさないよう留意しながら、効果的な事業実施に努めていきます。</p> <p>(38) この事業の補助内容は、あかつき福祉会と市の間で実施してきた人事交流に伴う市職員の人件費補助及び総合保健福祉センター内においてあかつき福祉会が運営しているライフプラザショートステイ室の経営支援です。</p> <p>人事交流については、平成20年度をもって終了し、平成21年度は人事交流に伴う補助金を削減します。</p> <p>また、ショートステイ室は、夜間に職員が常駐する施設に併設することで、利用者のニーズに柔軟に対応した効率的な運営が可能ですが、現状のライフプラザショートステイ室は、併設型でないため、非効率な運営とならざるを得ません。現在、あかつき福祉会では、(仮称)地域生活総合支援センターの建設に向けた検討を行っていますが、同センターを建設した際には、ライフプラザショートステイ室を拡大移転し、スタッフの効率的運用により運営面の改善、経費の削減を行うことで、市内のショートステイ基盤の充実・拡大を図ることができ、補助金も廃止できる予定です。</p> <p>(39) 社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とする民間の組織です。活動内容は市の受託事業をはじめとして本市における地域福祉施策と密接な関連のある事業が法人事業の大半を占めており、本市の福祉施策の推進に必要不可欠な法人です。そのため、運営及び事業の実施が円滑に行えるよう、公共的目的をもって市の補助金を交付しています。</p> <p>平成21年度は、補助内容の精査と人事交流の縮減により、補助金を削減します。</p> <p>今後も、平成23年度に向けて補助金のあり方を引き続き検討します。</p>
389	障害	<p>障害者雇用助成金には手をつけしないで下さい。障害者の暮しが成り立ちません。見直し、削るべき所は他にもあるはず。社会的弱者にしわ寄せになるところには、手をつけるべきではありません。事業所制度は、箕面市が全国に誇るべきものであり、この制度を全国に広め普及すべきものであります。長年かけて作ってきたものを、財政が厳しいからといって簡単に手放すものではありません。今でも私達は最低限の生活していますが、これ以上削られるということは、私達に“死ね”とおっしゃっているようなものです。白紙撤回して下さい。</p>	<p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
391	障害	<p>障害者の方や、それにかかわっている人達の仕事をなくさないで下さい。お願いします。</p>	
392	障害	<p>障害者の方もいっしょうけんめい仕事をされています。仕事場などなくさないで下さい。助成金・協力金もよろしくお願いします。(友達の子どもさんが豊能障害者労働センターで働いておられます。助成金が1割、2割と5年もカットされると、持ちこたえられなくなりそうです。職場が無くなってしまふ様な事になりかねません。56~7人が、その家族も生活出来なくなってしまいます。削減が軽くなりますようにお願いします。</p>	
393	障害	<p>スタッフの父親です。助成金が削減されるのは、生活が困窮してしまいます。何とか継続して貰いたいのです。減額されると健常者や障害者がやっつけられません！ 事業所の運営がなり立ちません。そうすれば廃業しかありません。そうなると障害者の息子は働く場所が無いのです。家で毎日居るのが苦痛で毎日楽しく通っているのが無くなるのは、息子に死ねと言う事に等しいと思います。何とか助成金を現在のままで事業者の存続が出来ます様、お願い致します。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方	
394	障害	CD、本など、かいたいです。写真集もほしいです。パンを全部売れるようにUPをしたい。障害者事業所への助成金1割削減へらさないでください。給料をUPさせてください。	<p>(61) 「知る権利」を保障する教育機関としての図書館は、市民のニーズが高く、これまで比較的豊かな財源を活用しながら整備を図ってきましたが、市内配置状況を見ると西部地域に多く、東部地域は図書館の配置が不十分なものとなっています。しかしながら、本市と同規模自治体や近隣自治体と比較すると、図書館設置数はかなり多くなっています。</p> <p>本市の財政状況などから、全市的に安定的な図書館サービスを実施するため、図書館配置の見直し(統廃合)の検討をするものですが、図書館については、市民ニーズの高い施設でありますので、慎重に検討していきます。</p>	
395	障害	内容不明		
396	障害	おかねがないと、本がかえなくなったら、いやなので、はんたいです。としょかんがなくなるのは、こまります。しょうがいしゃこようじょせいきん、さくげんはんたいです。		
397	障害	絶対がんばって下さい。給料を減らさないで下さい。障害者事業所への助成金1割削減、やめて下さい。		
398	障害	私は、箕面市の障害者事業所のことを知ったのは14年前の事です。ふとした事で、障害を持った人たちと関わりを持つことによって、障害があるなしに関わらず、共に働く楽しさをしました。健全者の私より、すばらしい何かを持っていることを、1日1日そして時が流れるにしたがって、それが確かなものになり、障害の有無にかかわらず運営を担って所得をわけあう。これは、箕面市が25年前からひとつひとつ積み上げ、それが今、やっと地域にも根づいて、これから、本当の箕面市がやらなければいけないことを、やめることになるのではないのでしょうか。箕面市独自の助成金を減らすことによって、障害者の方々はこれからどうなっていくのでしょうか。確かに日本は今は大変な時です。だからこそ箕面市がやって来たことは、これからは助成金を減さないでほしい。他市から通ってますが、箕面市の市長、議員の方、市役所の方々は、本当に市民のことを考えて、共に生きてる気がします。だからこそ、共にがんばっていきましょう。		
400	障害	給料あげてもらえたらうれしいです。障がい者じ業所への助成金1わりをへらさないで下さい。		
401	障害	障害者雇用助成金削減に反対、撤回して下さい。助成金の削減により障害者の雇用が進まず、障害者の働く場がへり障害者の進路が確実に減り希望の進路に進めなくなる。事業所、作業所の運営が苦しくなり、そこで働く者の給料も減らさざるをえなくなる。障害者の生活が今まで以上に苦しくなり、箕面の街であたりまえの市民としての生活が行われなくなる。市民への周知が不十分で知らない人が多すぎる。これでは市民の意見を反映できないはずです。		<p>「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p>
402	障害	給料を下げられるとこまります。障害者事業所への助成金1割削減こまります。		
403	障害	給料がへってしまいましたらこまってしまうし、パン屋さんをクビになりたくありません。障害者事業所への助成金1割減らさないでください。		
404	障害	障害者事業への助成金1割削減、反対します。助成金が減らされれば、みんなの給料も払えなくなります。よって、箕面市の事業所、作業所などがつぶれていくのではないのでしょうか？ 近年は、とくに、健常者の人でも就職先がない状態なので障害者の方は、障害者事業所、障害者作業所がなくなれば、行き場を失ってしまいます。「人権宣言のまち」箕面市はどうしたんでしょうか？		

No.	種別	意見	市の考え方
405	障害	私は、豊能障害者労働センターで働いています。今回、緊急プランの事を聞いてビックリしました。私は、今81,000円の給料を頂いています。そして、この給料で、子ども2人を育てています。今の金額で正直生活していくのはきついです。でも、これ以上助成金が減っていったら給料が少なくなると、本当にどうしたら良いのかわかりません。私は、安心して働けて生活ができるこの箕面が大好きです。昨年9月にありました共同連全国大会箕面大会で、地方の方にたくさん出会いました。そして箕面市の話をついに聞きました。ほとんどの方が、日本中が箕面市みたいになれば良いねとおっしゃっていました。本当に、その通りだなと感じました。と同時に色々な夢がいっぱいふくらんできました。でも、今回の緊急プランの話聞き、全てが、ガタガタとくずれた様に感じました。私は、皆様と同じように当たり前に、この箕面の町で幸せに生きていきたいです。お願いです。今回の緊急プランの話をご白紙にもしてください。よろしくお願いいたします。	緊急プラン(素案)を撤回しても、問題の先送りに過ぎず、箕面市の財政問題や財源不足は解決しません。また、現在の経済不況の影響は、市町村へは税収のさらなる減少として1～2年後に現れてきます。だからこそできるだけ早い段階で対策を実行する必要があります。必要不可欠なセーフティネットや福祉・教育・都市環境などの根幹的な施策を持続・継続していくためにも、改革は避けて通れないものと考えます。
407	障害	今日の緊急プランで障害者団体への助成金がカットされると勤めている事業所が存続できなくなります。そうなると、障害者である私は、一般で雇用してはもらえないので、即生活不可能になります。このようなプランは撤回してください。	
410	障害	授産施設について今迄通りの補助金で施設費を補助して欲しい。今迄でも生活がやって行けないのに自立支援でして行きなさいと言う決まりが決まって行けば生活をするのに苦しくなって行ってしまうので自立支援法を撤回して欲しいです。	
411	障害	・授産施設への補助金をもっとふやして欲しい。 ・福祉バス 外院には「あっとほーむ」、被昇天学園前には「もみじの家」があるので、その2ヶ所でも乗り降り自由にして欲しい。 ・第二プールをつぶさないでほしい。	・(26) 公共施設巡回福祉バス(Mバス)については、市内バス路線網の充実や路線バスとMバスの連携や一体化に向け、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき市民団体、交通事業者、行政等で構成する地域公共交通活性化協議会において「地域公共交通総合連携計画」を作成する予定です。なお、サービス水準と運行経費のバランス、費用対効果、市・事業者・利用者の負担のあり方などが課題となりますので、平成22年度から社会実験としての実証運行の開始をめざしたいと考えています。 ・(62) 第二総合運動場は設置後約30年を経過し、施設全体の老朽化が進んでおり、将来、多額の改修経費が必要になると予想されます。また、施設規模的に駐車可能台数が絶対的に不足しており、周辺環境の改善も含め、総合的な施設活性化計画を検討していく必要があります。このため、市民プールの改修や駐車場の整備など、費用対効果を勘案しながら、さまざまな視点で検討を始めているところです。東部地域におけるスポーツ拠点として第二総合運動場は重要な役割を担っていることを踏まえつつ、慎重に検討していきます。
412	障害	1. 授産施設の補助金カットはやめてもらいたい。 2. 第2総合グラウンドのプールは存続してほしい。 3. 福祉バスを存続してほしい。広告をはるのにはさんせします。 4. 福祉バス 途中～途中で降りられるようにしてほしい。 5. 今授産施設に通っていますが、経済的にくしい毎日を送っていますが、これ以上個人の負担が増えたと死活問題になる。	2. (62) 第二総合運動場は設置後約30年を経過し、施設全体の老朽化が進んでおり、将来、多額の改修経費が必要になると予想されます。また、施設規模的に駐車可能台数が絶対的に不足しており、周辺環境の改善も含め、総合的な施設活性化計画を検討していく必要があります。このため、市民プールの改修や駐車場の整備など、費用対効果を勘案しながら、さまざまな視点で検討を始めているところです。東部地域におけるスポーツ拠点として第二総合運動場は重要な役割を担っていることを踏まえつつ、慎重に検討していきます。 3. 4. (26) 公共施設巡回福祉バス(Mバス)については、市内バス路線網の充実や路線バスとMバスの連携や一体化に向け、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき市民団体、交通事業者、行政等で構成する地域公共交通活性化協議会において「地域公共交通総合連携計画」を作成する予定です。なお、サービス水準と運行経費のバランス、費用対効果、市・事業者・利用者の負担のあり方などが課題となりますので、平成22年度から社会実験としての実証運行の開始をめざしたいと考えています。

No.	種別	意見	市の考え方
414	障害	<p>今現在、息子が豊能障害者労働センターで働いている知的障害(ダウン症)者です。仕事が大好きで、卒業した学校の行事があっても「お仕事」と言って、仕事優先で休まず、毎日楽しく通っています。豊能障害者労働センターでは、健常者と障害スタッフがお互い助け合い、それぞれに合った能力を活用して、みんなで頑張っておられます。1月13日に、この素案を知り、聞き“ビックリ”しました。現在56人余の人達で、何とか維持できているのが現状で、助成金削減が一年だけなら何とか持ちこたえる事が出来るが、5年計画でこのまま実施されれば、生活の維持が非常にむづかしくなり、廃業に追い込まれかねない聞き、今のきびしい社会の中、次の就職先も無く、路頭に迷い大変な事になってしまいます。息子の様に知的障害者は本当に働く所が無くなってしまいます。特に箕面は住みよい街と言われて来ましたが、それは伝説だけになってしまい、住みにくい街になってしまいます。今まで長年皆さんが頑張ってここまで育てられて来た職場や箕面はどうなるのでしょうか？ もちろん良い案もいくつか出されていますが、弱者を助け本当に豊かな良き箕面を造っていただきたいと思ひます。どうか良い案を考え、みんなで良き箕面にしていきたいと思ひます。お願ひします。働く場をつぶさない様に、生活が維持出来るようにお願ひ申し上げます。生まれた時から一歩一歩前に進む事を考えながら将来を見据え、やっと手先が器用な事を役立てて仕事出来る職場を見つけ働かせてもらひ喜びを見つけ、又そんな事が出来るかしらと思ひ事を教えてもらひ、多くの新しい仕事出来るようになりました。頑張れば一生働き続けられると思ひていた職場がもし無くなってしまったらと考えると、親が死んだ後の事を考えると、とても不安です。折角いい職場、あたたかい職場が見つかった、巡り会えたと喜んでいたので、この子を残して先に死んでいく事が出来ません。(市長は、この様な体験をされた事がありますか?)もし自分がその立場であればとお考ひいただけないでしょうか？ 直接、生き死にに関係の無い事から節約・削減して行く道をお考ひいただきたい!!!</p> <p>そして皆がこれならと納得出来る、我慢出来る良き制度改革、箕面をよるしくお願ひ申し上げます。職員の給与カット4.5%なら、助成金も4.5%カット、同等でお願ひします。私は市長選挙の時、橋本知事と倉田市長なら若さとアイデアで大阪府や箕面市をきつと良い方向へ改革していただけたと思ひ、一票を投じました。スローガンにも賛同しました。信じています。どうぞ良き改革案をお考ひいただきます様よろしくお願ひ申し上げます。</p>	市の考え方
415	障害	<p>中途障害者作業所「いきがいワーク」より、パブリックコメントを提出させていただきます。(37件) 作業所の立場で、「緊急プラン」について、通所していらっしゃる方々に内容と受ける影響を説明しました。プランに対して納得できないので、パブリックコメントを書きたいという意見が多く出ました。しかしながら、障害を持った方々には自らの言葉での意思表示が困難な方が多いので、本当に言いたいことをストレートに表現することができません。つまり、箕面市が募集しているパブリックコメントは、箕面市民が平等に書けるものではないということをご理解下さい。 みんなで「緊急プラン」に対してどのように意見するか、検討した内容に自署してもらいました。自署をする事自体も大変な労力を要します。 コメントとしては同じ内容のものが複数存在しますが、もれなく市長に目を通してもらう事を強く望みます。</p>	皆様からいただいたご意見は、市長及び副市長に読んでいただくとともに市議会議員にも情報提供を行い、各公共施設に閲覧用を備えるとともに、市ホームページに公開しています。

No.	種別	意見	市の考え方
416	障害	<p>職員のみなさん、市財政の安定のための素案づくり、ご苦労様です。素案を読ませていただき、また説明会にも参加させていただきましたが、とても納得のいくものではありませんでした。素案の見直しを求める立場から意見を述べます。自治体の役割は市民のくらしや生命を守ることです。健全な財政運営と市民のくらしを両立させなくてはなりません。こうした理念や方策が感じられないことは残念です。NPO法人「千の風」は街角デイハウス2箇所と障害者福祉作業所、福祉・教育などの相談事業をおこなうことを目的としています。街角デイハウスと作業所は市の補助金をいただきながら運営しており、大変感謝しています。</p> <p>このたびの素案では、作業所補助金を平成21年度から1割カット、23年度には法制度移行と述べられています。削減額は私どもの作業所にあてはめずと職員一人の人件費相当分になり、単純に言えば3人の職員を1人削ることになります。手狭な作業所で職員は利用者の安全確保、作業内容を工夫し、作業工賃を出せるよう努力を行っています。一人欠けることなど考えられないほどぎりぎり運営しています。私たちの喜びは、この作業所があることによって「死ななくて良かった」という利用者の声です。障害者が増える中で、これからこの作業所をもっと充実し、役割を果たしたいと考えています。国の障害者自立支援法への移行も当然視野に入れておりますが、国や府の厳しい基準に適合する施設にするには財政的にも人的にも多くの困難があります。市はこうした実態をどのように把握されているのでしょうか？市が実態調査も方針も示さないまま素案を押し付けるという行為は、その方法でも内容でも決してあってはならないものと考えます。また、このたびの街角デイハウス事業については、素案の削減対象にはならなかったものの、大阪府の補助金削減の中で存続できるかどうか不安はぬぐえません。街角デイハウスに来て「今日も笑えた」というお年寄りの笑顔を是非見てください。相談事業の面も含め、私たちの事業は多くのボランティアさんの善意と、スタッフの献身的な努力で支えられています。もちろん補助金に頼らない事業運営も検討し、決して自助努力を怠っているわけではありません。</p> <p>これまでも、「構造改革」という名で介護保険制度や障害者自立支援法、医療制度や税制度の改悪、後期高齢者医療制度など国は次々と自治体と市民に負担を押し付けてきました。</p> <p>「千の風」を利用される方々はくらしに余裕がある人ばかりではありません。しかしこの施設があるからこそ支えあって生きる元気や喜びがあるのです。どうか市とされましては、事業運営の存続の課題を共有し、市民の喜びを己の喜びとするような姿勢に立っていただきたい。</p> <p>補助金削除をはじめ、福祉、医療など、くらし全般に負担を強いる今回の素案については見直しをしていただきますよう心から願うものです。</p>	市の考え方

No.	種別	意見	市の考え方
417	障害	<p>中途障害者作業所「いきがいワーク」の職員です。貴重な公金で補助していただいている作業所が、どのような役割を担っているか、ご説明させていただきます。</p> <p>作業所に通う障害を持たれた方々は、一般就職が適わない人ばかりです。社会的になじめない障害を持っていると、企業は受け入れてくれません。「いきがいワーク」が専門にしている中途障害者の例ですと、脳卒中後遺障害の失語症、喋れない・書けない・相手の言うことが理解できないなど、コミュニケーションが障害されます。数字が理解できないので、計算もできない人もいます。コミュニケーションが困難であるが故に、他人はもちろんのこと、家族や友人などの身近な人でさえも、本人の意思を理解できないケースも少なくありません。こういったことから、やはり就職は困難を極めます。</p> <p>障害を持った方がなぜ作業所に通うのか？「働ける」「自分にもできることがある」「苦しんでいるのは自分だけではなかったと気づいた」「社会とつながっている感じがする」など、これらは作業所に通われている方々の生の言葉です。月に3千円～5千円の工賃、昼食代に6千円を払えば赤字になりますが、意志を持って作業所に来ている。箕面市が補助金を出してくれるおかげで、少なくとも現在作業所に通っている人たちは、経済的に不安定ながら、健康を維持しつつ、活気のある作業所で「仕事」をしています。作業所に通うことで生活リズムを保ち、作業所を通して社会とつながることで、障害当事者が生き生きしていることは、家族の安心につながるとも言っていただいています。</p> <p>職員の役割とは？脳卒中や交通事故、難病などで人生半ばで障害を負う人は非常にたくさんいます。一人ひとりに個性があるように、障害も千差万別。同じ名前の障害であっても、その詳細は決して同じではありません。そうすると、一人ひとりの対応もケースバイケースであり、職員に求められるもの、おのずと質の高いものになります。日中活動以外にも生活面での相談に乗ることも少なくありません。また、作業所運営、障害当事者との関わり以外にも、家族・地域・行政・関係団体等とのネットワーク作り、障害者自立支援法の対策など、多岐にわたっており、はっきり言えば1日8時間の労働では間に合いません。休日を返上することもあります。しかし、限定されている予算の中では人件費に充てる余裕がない為に、残業代も休日出勤代も支払えません。それでも職員は、使命感とやりがいを持って仕事に取り組んでいます。</p> <p>作業所に通える人は限られた人のみです。自宅に引きこもっている障害を持つ人はたくさんいます。しかし、現補助金では受入れが困難であり、問い合わせがあっても断っているのが現状です。電話での問い合わせで受け入れをお断りした際に「障害を持った主人は一体どこに行けばいいのでしょうか？箕面市に問い合わせても答えがもらえなかった。ここにも断られたら、私たち家族は誰に相談したらいいのでしょうか？」と泣きながら訴えられました。私は謝るしかありませんでした。</p> <p>こんな現状の中で、さらに補助金を1割削減されたら、私たちは何かを切り捨てなければなりません。家賃を下げてもらうことはできません。送迎車が出なければ、障害を持った方々は作業所に来れません。そうなれば、人件費を削るしかありません。1割削減が実施された場合、その額は人件費の13%に相当します。ただでさえ少ない給料で頑張っている職員に「給料を13%カットする」と言った場合、どうなるでしょうか？働き続けられるでしょうか？職員の生活が安定しなければ、過酷な職場で働き続けることはできないと思います。</p> <p>職員がいなければ、自立支援法に則った事業移行はできません。職員が残ってくれたとしても、箕面市の助けがないと、私達が選択しようとしている事業への移行は困難です。現段階で想定していた移行計画は、全て崩れ去ります。プランにあげられている「H24から法定事業へ移行」の記載は現実的ではなく、補助金1割削減は作業所がつぶれる、施設と人員のリストラにつながります。</p> <p>他市のも自慢できる福祉施策を執っていた箕面市が、障害者の行き場を奪い、貴重な福祉労働者の切り捨てにつながる提案するのは本当に残念なことです。作業所は箕面市にとっても貴重な財産だと思います。いつまでも福祉を自慢できる街でいてください。</p> <p>ですから、提案されている「緊急プラン(素案)」に対しては、撤回することをお願いします。</p>	<p>市の考え方</p> <p>緊急プラン(素案)を撤回しても、問題の先送りに過ぎず、箕面市の財政問題や財源不足は解決しません。また、現在の経済不況の影響は、市町村へは税収のさらなる減少として1～2年後に現れてきます。だからこそできるだけ早い段階で対策を実行する必要があります。必要不可欠なセーフティネットや福祉・教育・都市環境などの根幹的な施策を持続・継続していくためにも、改革は避けて通れないものと考えます。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
418	障害	<p>NO.42 障害者福祉作業所運営補助金 H21年度1割減 に反対します。</p> <p>理由1:現状、補助金要綱Cランクの補助金では、1割以上運営資金が足りません。そのうえ更に1割をカットされてしまうと死活問題です。</p> <p>要綱どおりBランクで申請を出しておりますが、ランクアップは認められないという納得のいかない理由で申請が通りません。作業所に通いたいというメンバー(利用者)が増えていく中、人件費や運営に必要な出費を切り詰めるにも限界があります。</p> <p>理由2:中途障害者のいきがいと労働の場を作っていくために、箕面市の理解と補助金が必要だからです。</p> <p>“中途障害者”という言葉をご存じでしょうか?生まれつきの障害ではなく、人生半ばで事故や病気によりある日突然、障害者になってしまった人たちのことをいいます。誰にでも起こる可能性のある中途障害、他人事ではありません。障害を負ったことにより仕事を失い、社会との接点が奪われ、自分の居場所すらわからないまま閉じこもりの生活を余儀なくされています。かつてのようにバリバリではなくても働きたい!社会復帰したい!そう思いながらも生きる希望や目標、生きていく自信が見つからないのが中途障害者の特徴といえます。</p> <p>全国の中途障害者の人口は数十万人以上いるといわれています。しかし、中途障害者の作業所は全国で約100カ所、府内には4地区8作業所しかありません。中途障害者は年々増え続ける一方で、作業所を減らすわけにはいきません。</p> <p>昨年末メンバー(利用者)と面談を行いました。共通していたのが「自分にも出来ることがある」自分も必要とされている」「作業所が無くなると困る」という意見でした。</p> <p>中途障害者になってしまっても働けるんだ!社会に貢献できるんだ!ということを箕面市から全国へ発信できれば、こんな素晴らしいことはないと思います。</p>	
419	障害	<p>NO.42 障害者福祉作業所運営補助金を減らさないでください。</p> <p>私は、箕面が好きで箕面の中途障害者作業所いきがいワークで働く職員です。箕面に引越してつもりでしたが、家族がいるので門真から通っています。</p> <p>“中途障害者”とは生まれつきの障害ではなく、人生半ばで事故や病気によりある日突然、障害者になってしまった人たちのことをいいます。作業所で働くメンバー(利用者)は、全員障害者になるなんて予想もせず、私たちと同じように普通に生活し、バリバリと働いてきました。それがある日突然、目が覚めると体が動かない、言葉が出ない、など障害を負うことになるのです。</p> <p>つまり、障害というのは、『自分では避けられない』『自分で前もって知り得ない』『だれにも生じる可能性がある』ことです。</p> <p>メンバー(利用者)は身体的・精神的苦痛に加えて、将来への絶望感なども重なり、必ずといっていいほど死を考えたといえます。『生きていてもしかたがない。死んだほうがマシや』と思い悩み、本人のみならず家族の人たちも出口のないトンネルに迷い込んでいきます。もはやこの問題は個人単位では解決できるものではなく、社会全体で支えていかなければどうしようもない問題です。しかしまた一方で「少しでも歩けるようになりたい」「ごちなくても言葉を取り戻したい」という絶望感と背中合わせのささやかな希望を胸に、社会復帰への挑戦をはじめます。このような仲間が集まってできたのが、中途障害者のいきがいと働く場「いきがいワーク」です。</p> <p>現在、全国には数十万人以上の中途障害者がいるといわれその数は年々増え続けているのに対し、専門の作業所はわずか100軒ほどしかなく、府内には4市8作業所しかありません。その為、多くの人たちは作業所に通うことができず、家の中で閉じこもりの生活を余儀なくされています。一人でも多くの中途障害者の人たちが安心して通えるために、そして作業所で働くメンバーの“社会とのつながり”が奪われないように、いきがいワークを維持・発展させていきたいです。まずは、維持するために補助金を減らさないでください。お願いします。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
420	障害	<p>42 障害者福祉作業所運営補助金 補助金は人件費・賃借料・送迎費用で大半が消費されるその1割をカットされると生じる問題 家賃や送迎に関わる費用など、削減できないものはそのままにするしかないので、ただでさえ不足している職員を減らす。 職員を減らすことで、利用者に必要な対応ができなくなる。 施設側として利用者を意図的に減らすことになる。 自立支援法に則った事業移行が困難となる。 本来の障害者作業所としての機能を果たせず、平成23年度に補助金が完全になくなり、作業所は閉鎖に追い込まれる。 障害者の人たちは、行き場を失って引きこもりとなる。職員は仕事を失う。 単純な発想で今を良くしても、将来は真っ暗。箕面市が提案している内容は、市民を苦しめるものでありません。 ・水道代を値上げしないでください。 ・市立病院の入院費用を負担がこまります。 これ以上私達をいじめないでください！</p>	<p>水道事業は、現在そして将来とも安全・安心、安定した給水サービスが提供できるよう、将来を見通した経営が必要であり、料金も持続可能な水道事業を収入面から支えられる水準に設定する必要があります。本市水道料金は、府内各市と比較した場合「高位」に位置していますが、これは南北に傾斜がある地形から配水池やポンプ場を多く設置しており、府内各市と比較して動力費や修繕費などのコストが増加せざるを得ない側面があるためです。 また、水源の86パーセントを大阪府営水道水に依存しており、府内各市と比較して受水費が平均を上回る一方、自己水源は14パーセントと少量ですが、簡易水道を含め4カ所の浄水場があるなど、維持管理等経営環境は厳しいものがあります。 このような中で給水にかかる経費をいかに抑制していくかが課題ですが、経費抑制の取り組みとしては、人件費の削減、上下水道事業の統合、委託業務の拡大、高金利企業債の繰上償還等を行ってまいりました。引き続きこれらの取り組みを追求しながら、安全性や安定性に配慮した施設の統廃合を進め、生産性を高めていきたいと考えています。 なお、下水道使用料は大阪府内では「中位」に位置しております。上下水道料金については、可能な限り現行水準の維持に努めます。 (9)入院いかに関わらず、生活の中で当然に必要な食費について、健康保険制度における食費負担の考え方にあわせて、これまで市単独で実施していた入院時の食費助成分を平成21年11月から廃止します。これにより、市の経常的な支出を年間約2,000万円圧縮することができ、入院するかたと在宅で治療されるかたの負担の均衡が図られます。なお、健康保険制度により、低所得者への配慮から軽減措置が設けられているため、自己負担額は所得や年齢に応じて1食あたり100円～260円となります。</p>
421	障害	<p>一口言って全て廃止されたら非常に人生こまります。 僕は障害者ですが、甘ったれた気持ちはありません。今回の案の言い出しっぺは誰でしょうか？！儉約するにも限界があります。今回の事どう考えてもなっとく行きません。</p>	
422	障害	<p>私は「緊急プラン(素案)」に反対する立場で意見を述べます。 このたび若い新市長の誕生に、私たち箕面市民はある意味期待を膨らませました。国の国民に対する冷たい政治にうらさが逼迫している中、地方自治体に大きな期待を寄せることはごく当然のことかと思えます。そういう市民の大きな期待を受けて市長に就任されたのではないのでしょうか。 箕面市が12月に発表された「箕面市緊急プラン」の内容を知って大変驚いています。87項目の項目はどれも市民サービス、市民生活に直結するものばかりです。大阪府の橋下知事の時も怒りましたが、箕面の倉田市長までもこんな市民いじめの素案を考えておられるのかと怒りを禁じ得ません。市民から意見を求めておられることについては歓迎ですが、年末年始にかかり、市民に情報が徹底されるには余りに短時日ではないのでしょうか、多くの市民が知らない間に変更になったり、廃止になるなどの混乱が起こることになります。 又は、この「素案」を見ているだけでは箕面市の全体の予算が分かりません。基金を取り崩しているとのことですが、この原因が私たち市民にあるのでしょうか。私たち市民生活をこれ以上切り下げなければならない事情が理解できません。もっと見直さなければならない大きなムダ使いがありませんか！ 私は高齢者が集う街角デイハウスと中途障害者作業所のスタッフをしています。項目全般について撤回を望むものですが、とりわけ高齢者や障害者の分野で撤回を強く求めます。障害者や高齢者の声に聞く耳をもって下さい。障害を負われた方がどんな思いで日々暮らしておられるか知る義務があると思います。このプランは今すぐ撤回して下さい。 住民に心を寄せた、住民が主人公の行政を強く望みます。</p>	<p>「拙速・性急すぎる、突発的に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。 「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。 「財政悪化の原因は何か？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。 「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
423	障害	<p>私が箕面の土地に来たあと42歳で脳出血で倒れ、障害と言うものを背負ってしまいました。そのころの私は三人の子供が居て、目の前が真っ暗になりました。しかし田舎の母は、箕面は福祉の街だから少しは安心だ、と言っていました。私はそんな母を心配させたくないと思いました。</p> <p>そんな時に、私は幸せな事に箕面市内に在る中途障害者作業所「いきがいワーク」という所に通えるようになりました。倒れてたくさん大切な物を無くしましたが、この作業所と出会えてたことで、自分だけがこんな思いをしているんじゃないって思えました。自分で自分の命の芽を摘んでしまうというバカな事をしなくて良かったです。</p> <p>この作業所は市長と同じくらいの若いスタッフが、私達みたいに人生バリバリ生きていた人達を引っ張ってくれています。それに素晴らしいボランティアの人達がいつも支えてくれます。こういった素晴らしい人達が集まり、懸命に生きようとする人達を支え、笑顔にさせてくれます。私が倒れて無くした物の中で、一番取り戻したかったのが笑顔でした。そんな笑顔を咲かせる所です。</p> <p>でも、最近箕面市長になられた人はどうなっているのでしょうか？市長は、こういった場所を無くそうとしているではありませんか？市役所から健常者なら歩いて10分もあれば来れる、この作業所の事を知っているのでしょうか？</p> <p>私が二十年前に箕面に来た時は、箕面の滝もスゴく綺麗な水が高い所から落ちてきました。周りの自然と調和して、滝壺付近では自然からのプレゼントのマイナスイオンが一杯でいました。田舎から出て来て、いろんな事に悩んだ私の心を癒してくれました。そんな滝も、今では山に人間が足を踏み入れたばかりに、落ちてくるのは水じゃ無く、市民から吸い上げた税金が涙のごとく流れ落ちてくるようにしか見えません。少し寂しくなります。箕面の人間でいようと思っている私には残念な事です。</p> <p>私は今、障害を背負ってます。でも生きてます。私達が障害を背負って生きているように、市長は背中のでっかい「長」って言う責任を背負って生きています。市長さん、せめて私達みたいに普通に歩いて行けない人達が、歩みやすい道作りをして頂けないでしょうか？それも箕面の「長」を背負った市長さんの大切な仕事だと、私も市民も思っていますので、宜しくお願いします。</p> <p>何より市長のお膝元の本当にすぐ近くで活動していますので、見学に来て、私たちを納得させてから補助金カットとか、バカな事を考えてください。</p>	<p>市の方針として、各作業所、事業所等については、障害福祉課職員が実地に赴き、現状把握に努めるとともに障害福祉施策の再構築に反映させます。</p>
424	障害	<p>障害者作業所の補助金がどのように活用されているのか。また、足りているのか、足りていないのか。現場の様子を見たことありますか。補助金は、本当に大切に使われています。箕面市にとっても、大変価値のあるものとしてです。削減は、その価値を削ることになります。熟慮の上、新たな提案をお願いします。</p>	
426	障害	<p>補助金が削減されることにより作業所の運営が困難になることになり、障害者を持つ家族としては、生活をしていく以上、働かねばならないのに、障害者を受け入れてくれる所がなければ働くものとしてはどうすればいいのですか？又、障害者であってもひとりの人間として働く意欲とかなんらかの形でだれかのためになればという気持ちは一杯持っています。だれにでも、障害者になることはあります。障害者にも健常者と同じように受け入れる場所がなくては、人間としてより障害者となってしまいます。そのためにも、作業所の運営は絶対といいていいほど必要なものです。</p> <p>「補助金 削減」を考えた経営改革担当の中に、身内に障害者を持った方がおられますか。これは一種の差別扱いになりかねませんよ！</p> <p>私たち障害者を持った家族は、作業所があったことで心より感しゃしております！本人も第2の人生を不自由ながらに、いっしょうけんめいにガンバッテおります。そんなすがたをぜひ見ていただきたい作業所のたいせつさをわかってほしいです。</p>	
428	障害	<p>弱者が他の人達と同じように生活出来てこそ地域の発展につながるのではないのでしょうか。市民全員が安心して生活する為、ぜひ補助金を残して下さい。その場しのぎの政策ではなく未来を見据えた政策をお願いします。</p>	<p>「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
429	障害	<p>補助金で運営している団体は、1割であっても削減されると運営が困難になります。補助金を削ることは止めて下さい。</p>	

No.	種別	意見	市の考え方
430	障害	障害者が生きがいを求めている。作業所への補助金を削減しないで下さい。障害者がどのような作業をしているか訪問して感じて下さい。	
435	障害	家賃や送迎等今でさえ削減されている状態で運転の方募集もなかなか見つかりません。職員を減らすと今の状態でも大変です。対応がむづかしくなります。工房等実際に知らずやと利用ができていきがい持つ事が減らされてはこまります。事の一つ一つが困難となる。障害者福祉作業所として機能を果たせない。障害者の人達は生きがいや仕事を失う、職員も失業する。	
436	障害	障害者福祉作業所運営補助金 補助金は、人件費・賃借料・送迎費用で大半が消化される。その1割をカットされると生じる問題 家賃や送迎に関わる費用など削減できないものはそのままにするしかないで、ただでさえ不足している職員を減らす 職員を減らすことで、利用者に必要な対応ができなくなる 施設側として利用者を意図的に減らすことになる 自立支援法に則った事業移行が困難となる。 本来の障害者作業所としての機能を果たせず、平成23年度に補助金が完全になくなり、作業所は閉鎖に追い込まれる。 障害者の人たちは、行き場を失って引きこもりとなる。職員は仕事を失う。 単純な発想で今を良くしても、将来は真っ暗。箕面市が提案している内容は、市民を苦しめるものでありません。	
437	障害	4.2 障害者福祉作業所運営補助金 補助金を削減されたら作業所がつぶれます。補助金を削らないで下さい。	
446	障害	障害者共同作業所の補助金が今回のゼロ素案に組み込まれているのを読ませていただき衝撃を受けております。もとより障害者が社会から排除される中でこの街は出来上がっていました。それは国連障害者の10年の精神にもとる、完全参加と平等を保障する立場からも、箕面市で作業所制度等が構築され、そのことにより箕面市での障害者作業所が一定数増え、障害者が市内で働き暮らすことが保障されたことは大変な当事者の応援団になったと思っております。 しかし現時点において障害者を取り巻く環境が改善されたとは残念ながら思えません。なぜなら、旧来より障害者の生活水準は改善されておらず、生活保護受給世帯における障害者世帯が占める割合の高さなどを見ても豊かな環境を確保したとは言えません。 であるなら、その取り巻く環境が改善されるまでは、障害者福祉の観点からも同制度の100%継続が担保されるべきなのです。 同様に、箕面市独自の全国に誇りうるべき制度である障害者事業所制度も削減の対象に入れておられません。同制度は一見、同事業所で働く障害者の数が限定され費用対効果が低いように見えるかもしれませんが、実際には障害者事業団の直接雇用なども相まって箕面市における障害者雇用促進の機運を醸成させてきた極めて高い全市民的効果を確保して参りました。この事により、滋賀県や北海道札幌市などが障害者事業所制度に習った制度を独自に構築し、各地の障害者雇用に資するものとなり高く評価をされております。障害者自立支援法に見られる、障害者はサービス利用対象者、福祉の恩恵受給者であるという観点ではなく、共に地域社会経済の一員であり欠くことのない市民の一人一人であることを知らしめた障害者事業所制度もしっかりと維持されなければなりません。厳しい財政状況の中ではありますが、障害者事業所制度を切り縮めることにより市内各地域、各レベルで発生する様々な費用負担(生活保護の増大や障害者問題啓発活動の弱体化)を考えるならば同制度の維持が実は極めて効果的な財政出動であることが判っていただけだと思います。	

No.	種別	意見	市の考え方
		<p>障害者作業所制度や障害者事業所制度など確かに本来は必要なくなるインクルージョン箕面市が到来するべきです。しかしそういった市民的運動を構築していくための方策として現時点的には作業所・事業所制度が必要です。「維持可能な制度」ではなく、同制度はいずれ「解消していくべき指向性を持った制度」です。いつまでも障害者を保護の対象とするのではなく、対等平等な市民の一人として街づくりに参画していただくために同制度を当面は強化し、同制度で活動する障害のある、なしの市民に障害者問題解消のために奮闘していただかねばならないのではないのでしょうか。</p>	
447	障害	<p>現在、箕面市において891項目の事業が行われていますが、今回の緊急プランではその内の87項目について見直しが提案されています。その中には障害者や高齢者に対する補助金の削減がされています。さらに、障害者が日中活動の場としている小規模授産施設や生活の場としているグループホーム、そして障害者や高齢者の方が相談の場所として利用している社会福祉協議会への補助金も削減がなされようとしています。</p> <p>財政的に厳しい状況であることは理解できるのですが、障害者や高齢者に対する補助金の削減については生活に直接結びつくことなので再検討していただきたいと思います。</p> <p>経費の削減は87項目だけではなく全ての事業をもう一度再検討してください。</p> <p>特に福祉分野の削減に関しては再検討をお願いいたします。</p>	<p>「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
451	障害	<p>4. 補助金見直しNO.35 障害者グループホーム補助金見直し 補助戸数見直しとあるが、あかつき福祉会運営以外のグループホームの家賃については、家賃補助の継続をされると解釈していいのですか。また、支援センター建設により家賃補助を削減あるいは廃止されるのであれば、家賃補助にかわる施策とはどのようなものか伺いたい。</p> <p>家賃補助に関しては廃止を検討されても良いのではないかと考えていますが、ただし、それにかわる施策の打ち出しが有ることです。市営住宅等低家賃の提供を考えてほしいものですが、市の考えとしては優先利用枠の確保は難しいとの見解です。現市営住宅等利用者の現況審査等見直しがされているのか疑問です。必要な人が利用できる市営住宅の運営をお願いしたいものです。</p> <p>4. 補助金見直しNO.42 障害者福祉作業所運営補助金 平成21年度から1割削減とありますが、昨年の作業所への説明では事業移行を検討してほしいということ。そして、現補助金の使途明細がシビアになるとの説明はありましたが、平成21年度から即1割削減との話は聞いていません。</p> <p>支援学校からの新卒者をあかつき園等で優先受け入れられる事により、あかつき園からの進路先として福祉作業所が設立されています。また、重度障害者が多い中、支援者の確保も必要になります。事業移行も検討する必要はありますが、はたして、福祉作業所は必要ないのか。</p> <p>市の経営面からみて金額だけの判断をされているようですが、重度障害者の受け皿としての福祉作業者のもつ意義も考えてほしいと思っています。</p> <p>事前説明も無い中での即1割削減ではなく、利用者数及び使途目的見直し等での補助金のあり方の検討をお願いしたい。</p>	<p>・(35) 本市独自の施策として、市内で住居を借り、グループホーム・ケアホームを運営する事業者に対して施設借上補助金を交付しています。事業者がこの補助金を受けることで、利用者の家賃負担の軽減につながっています。本市内のグループホーム・ケアホーム運営主体のひとつであるあかつき福祉会でも、この補助金を活用していますが、市内に9か所のグループホーム・ケアホームが点在していることから、夜間の支援体制等の効率化を図ることができず、同福祉会の経営を圧迫しています。このような状況にあって、グループホーム・ケアホームの戸数を増やすこともままならない状況です。</p> <p>あかつき福祉会が(仮称)地域生活総合支援センターを建設することにより、平成23年度以降、同福祉会が運営する全てのグループホーム・ケアホームが同センターに統合されることになります。その結果、あかつき福祉会は、家賃を負担する必要がなくなることから、市の補助金の削減が図られるものです。また、市の補助金の削減だけでなく、スタッフの効率的運用による運営面の改善や安全面の充実・改善が図られるという利点もあります。</p> <p>グループホーム・ケアホームを統合することで施設化の方向と見られるかもしれませんが、あくまで上記の利点を考慮してのことで、利用者にとってはこの支援センターで生活が完結されるものではなく、日中活動の場や余暇活動等は地域に求めていくものです。</p> <p>なお、グループホーム・ケアホームの施設借上補助金については、平成21年度も平成20年度と同様の基準で交付する予定です。また、平成23年度以降、あかつき福祉会の運営するグループホーム・ケアホームにかかる補助金については、(仮称)地域生活総合支援センター建設によりなくなりますが、他の事業者が運営するグループホーム・ケアホームに対する施設借上補助金については継続します。</p> <p>・平成18、19年度の2カ年で、市営住宅の供給・管理のあり方の検討を行い、平成20年度の募集から、障害者や特に社会的・経済的理由による住宅困窮度の高い高齢者などが入居しやすいよう「当選倍率優遇方式」を導入しています。また、住戸の仕様が高齢者・障害者向けで特定目的住宅として供給している住宅を、高齢者・障害者世帯用住宅として募集をし、住宅の困窮度に応じて当選倍率を優遇しています。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
453	障害	<p>生まれは豊中ですが3歳からこの箕面にずっと住んで32年になり、3歳と7歳の子どもを育て、働きにくさをかかえた方や障害を持っている方とともに働く「労働」の場を生み出そうと活動を昨年12月末から始めたところです。同時期にこのゼロ試案が提示され、驚きを通り過ぎ怒りを覚えました。もちろん様々な方面から照らしての試案なのだろうと思いますが、一度読み、何度も読んでも福祉や高齢者、また、子どもたちがいきいきと暮らせる街に...と倉田市長がおっしゃっているにも関わらず保育料の改定、図書館などの再編統合の意図が見えず、社会的弱者にとって厳しいとおおいに感じました。多くの事業の中からなぜこれらの87項目が選ばれ廃止や抑制や凍結をされるのかも大きな疑問であります。</p> <p>とりわけ箕面市障害者事業団や障害者福祉作業所運営補助金、障害者雇用助成補助金に関しても、行政主体でなく協働で議論を積み重ね生んだ箕面市独自の誇り高い制度であると信じているのですが、大幅に削減される改革となっております。</p> <p>補助金の金額だけを見ると大きく財政を圧迫しているように思えるかもしれませんが、箕面という人口12万人の小さい街からの発信が全国に届き、そのことが形となっています。</p> <p>ひとつは滋賀県の社会的事業所制度であります。滋賀県では活発な市民活動とともに歩む行政とで現在も制度構築をなさっており、そのベースにあったのは箕面の障害者雇用助成制度にあると聞きました。また、北海道の札幌市でも同制度にほぼ同じものがあります。</p> <p>その社会的事業所や箕面の障害者雇用助成制度の効果は現時点で雇用につながっている人数でも、おのおの運営が進められている実績ではなく、箕面市が多くの障害者の方々や働きにくさを持っている方がこれらの活動の発信により、長年の差別や偏見を受けてあきらめてしまっていた未来を見つめ直すきっかけとなり自立や労働の活動を担う担い手として新しい取り組みを生み出したり、助成されている金額だけではなく効果が箕面市をはじめ、さまざまなところで「生きることを獲得しているのです。</p> <p>是非、箕面市行政も大いにこの25年の歴史を踏まえ自負いただき、全国に先駆け先導してはじめての事業を今後も構築していくことと信じています。</p> <p>これは思いではありません。そう進んでいくことを人びとが教えてくれたのです。それは、昨年9月に行われた全国組織「NPO法人共同連」の全国大会がこの箕面で行われ、500名もの方々に参加され、ともに生き、ともに学び、ともにたたくことを議論し、また箕面の人権の歴史をたどり「誰一人として涙を流してはならない...」と提唱している人権宣言を掲げてる街であると河野秀忠氏の講演を聞き、改めてこれからもこの街で暮らして未来を担う子どもたちや私たちが安心して老いをみつめ生きていける場として行政と共に歩んでまいりたいと思っています。また、この大会に参加された方々がブログや様々な場で「箕面は元気がある！」という感想を聞きます。</p> <p>これはもとより市民だけでなく、箕面市行政とともに愛する街をつくり、耕してきた結果だと確信しています。</p> <p>この試案は生ものである。今から各部局や市民の声でより安心し、また新たにこの街にくらしたい方々が増えるものになるため、今こそ市民と行政がつながりよりおおくの豊かな知恵を出し合いともに奮闘するときではないでしょうか？</p>	<p>「財政悪化の原因は何か？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>図書館統廃合について (61)「知る権利」を保障する教育機関としての図書館は、市民のニーズが高く、これまで比較的豊かな財源を活用しながら整備を図ってきましたが、市内配置状況を見ると西部地域に多く、東部地域は図書館の配置が不十分なものとなっています。しかしながら、本市と同規模自治体や近隣自治体と比較すると、図書館設置数はかなり多くなっています。</p> <p>本市の財政状況などから、全市的に安定的な図書館サービスを実施するため、図書館配置の見直し(統廃合)の検討をするものですが、図書館については、市民ニーズの高い施設でありますので、慎重に検討していきます。</p>
464	障害	<p>歳出改革の「4補助金の見直し」の44、小規模通所授産施設運営補助金2割削減案についてですが、障害者の行き場として日中活動を送る場として運営している小規模通所授産施設は現在の補助金でギリギリの運営をしています。毎年報告書を箕面市に提出し運営状況を理解しているはずの箕面市が、今回の緊急プランで無駄な支出を見直してと仰っておられましたけどどこに無駄があったのでしょうか？現状の補助金の中で障害者の方々への支援の中で無駄な支出は間違いなくありません。また、補助金を削減されると現在でもギリギリの運営が悪化し、支援員の確保すら難しい状況となります。支援員が確保出来なければ運営は成り立たず、施設そのものを閉鎖に追い込まれ、箕面市の障害者の行き場がなくなり、障害者市民への影響は計りしれません。また、箕面市の第2次箕面市障害者市民の長期計画には小規模通所授産施設の必要性や移行に向けた検討について記載されていますが、この緊急プランの案では検討の余地もなく閉鎖に追い込まれてしまいます。</p> <p>今後も障害者市民の行き場の確保が出来るようこの小規模通所授産施設運営補助金の削減についての見直し、緊急プランのそもそもの見直しを是非行って頂くことを強く要望します。</p>	<p>この緊急プラン(素案)・ゼロ試案はチーム“ゼロ”が作成した議論の為のたたき台ですので、Nプランを執行する事業担当課との調整は行っておりません。改革の実行に当たっては、市民の皆様の見解も参考にしながら事業担当課との調整を行い、議会とも議論し毎年の予算編成で実行していきます。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
469	障害	今回のゼロ試算に対しては激しい憤りを感じます。行政に金がないからといって社会的弱者(障害者・高齢者・就労困難者)への補助金やセーフティネットを削ろうとするなど許せません。私の働く障害者事業所は運営ができなくなり、多くの障害者の労働権、自立生活が破壊されるのが目に見え、施設入居者や生活保護を受けざるをえない障害者が増えます。いくらゼロ試算で補助金を削ったとしても結果、福祉予算が逆にかかるとは思います。私たちはそんなことを望んでいません。障害者は長い間、一般就労から排除され福祉施設の中で月1万円にも満たない賃金で生活してきました。その状況の中でひとりの人間として地域であたりまえに暮らしたいと強く願う当事者やその仲間たちが箕面市と共に創りあげてきたのが障害者事業所です。不十分ながらもこの20数年たくさんの人たちが苦労して障害者の労働権自立生活を達成してきたのです。それをモデルにしてこの数年、滋賀や札幌でも障害者事業所制度がやっと出来たところです。最後に行政の方々に聞きたい、あなたの給与が20%カットされたら生活をやっていけますか？私たちは切実です。多くの障害者の人生がかかっています。	「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。
473	障害	小規模授産に毎日かよっています。毎日行く場所としています心のよりどころとして、他にいける場所がないから毎日かよっています。精神ショウ害とはくちで説明できない位むづかしいショウ害です。	
500	障害	(障害者就労支援施策への助成金のカットについて) 私は重度障害者なので実感しています。障害者就労支援施策への補助金のカットは多くの団体の財政構造の実態からすると人件費のカット、それも低い給料の障害者は削りようがないので健常者職員の賃金カットに直結すると思います。健全者職員が手薄になることは多くの障害者の働き方に大きく影響を与えます。(例えば知的障害の人に適切な声かけをする人がいなくなれば、その人の仕事量は極端に減ります)つまり、それは単なる補助金の1割カットや2割カットではなく、事業収益の低下にもつながり、全体的な収入の低下を意味するのです。額面の金額以上の大きなダメージがあることをしっかりと考えて、判断して下さい。	
507	障害	プランの公表方法について 公表方法は市のホームページと広報誌「もみじだより1月号」、1/7～1/10に開かれた説明会のみ。市民全員がホームページを閲覧できる環境やスキルを持っているわけではない。この案の存在自体を知らなければホームページを検索することもない。市は「もみじだより1月号」の表紙に大々的にプランについて掲載し、市民に知らせる義務があるはずだ。しかし「もみじだより1月号」の表紙には「緊急プラン」の文字はない。17ページ目の1/4以下のスペースにプランの簡単な内容を掲載するのみ。これを一見しただけでは、このプランの重要性は全く理解できない。市民にとってこのプランよりも、ここに掲載されている情報の方が知る価値があると判断したのだろうか。市民生活に直結するこのプランを市民の何%が現状知っているだろうか。この案に対する意見提出期間は1/16までだが、市民に知らせる活動を十分に行わない中、年末年始を挟んで発表から締め切りまでの期間はあまりに短すぎる。 歳出改革案について ・市民生活に切り込む内容だが、福祉といったセーフティー・ネットまでを削減対象としなければならないほどまでに 箕面市 が財政難に陥った原因が明確にされていない。歳出削減部分のみの提示で、削減されない部分を示していない。 ・市民生活を支える「民生費」の部分が広く削減の対象となっている。平成19年の決算の歳出で「民生費」に次いで大きな割合を占め、平成19年の決算額に対する平成20年予算で108.4%の増加となっている「土木費」をもっと削減できないのか。市民生活を犠牲にするのは最終手段ではないか。その前にもっと削れる支出があるのではないか。	プランの公表方法について 「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。 「拙速・性急すぎる、突発的に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。 歳出改革案について 「財政悪化の原因は何か？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。 「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。

No.	種別	意見	市の考え方
		<p>障害者福祉に関わる歳出削減について</p> <p>市内にある障害者福祉作業所運営補助金、障害者雇用助成補助金を2009年と2010年は1割カット、2011年からは2割カットを行うという内容だが、このカットはそのまま職員の給与削減につながる。豊能障害者労働センターで働いている健常者は週5勤務で月収約12万、週6勤務で月収約16万と、生活していくのに最低ぎりぎりのラインの収入。補助金がかットされ、これ以上に収入が減ってしまうと、健常者の職員が働き続けることが困難になり、障害者事業所の存続自体が困難になってしまう。改革案の中に、「管理職の給与4.5%カット、管理職以外4.0%カット」を盛り込んでいるが、障害者の給与は2年間は1割、その後は2割カットでも構わないということなのだろうか。障害者の雇用、生活を犠牲にしてまで進めなければならないほど箕面市がなぜ、どのように財政難に陥っているのか、市民が納得できる形で説明できるのか。</p> <p>市政とは誰のためのもので、何のためにあるのかを真剣に考えて欲しい。弱者を切り捨てるような民主主義はあってはならない。もっと市民が前向きに生活していけるプランにするべきだと思う。</p>	<p>障害者福祉に関わる歳出削減について</p> <p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「市職員の人件費について」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
512	障害	<p>人が働くのは、金を得て、得た金で生まれ育った町で生活していく事は、もちろん自分の存在をアピールするというのも大事な目的ではないでしょうか。</p> <p>義務教育が終わると大部分の人が高校、大学と進むことが当たり前となった昨今、大部分の重度障害者が義務教育を終えると、何とか自分でも出来る仕事を探そうと職を求めて職安等を回る。健常者でも職に就くことが難しい今の状況、自分に合う仕事が見つからず、家に閉じこもりがちになってしまう。社会に出る機会を失ってしまう。</p> <p>障害者を閉じこもりさせないのが箕面市の方針と聞いた事があるが、そのためにも障害者事業所が頑張れるようにご一考下さい。</p> <p>現在働いているところへきて20年以上が過ぎたが、昇給というもの1回は覚えているが、2回目はあったかなかったか記憶にない。</p>	
385	障害	<p>現在、21才の重症心身障害者の息子を持つ母親です。母子家庭ですので、私一人で全面的に介護しております。今回の見直しで医療費等の見直しがあげられており、毎月、通院や訓練のため5～6回、定期的に身体障害者手帳を使って医療費を支払っております。訪問看護も最近まで受けており、又、福祉バスも通院時、予約して使用します。現在は何とか生活できておりますが、これ以上、助成が受けられなくなると出費も多くなり、とても負担が大きくなることは、生活に支障をきたすこととなり、大変不安を感じます。他市に比べて箕面市は、福祉の面で恵まれていると感じていただけに、本当に将来を考えると、福祉を充実して障害者にとって住み良い市を自ざして頑張りたいと思うのです。ショートステイも、医療的ケアの必要な障害者は箕面市内で受け入れてもらえないため、遠い他市まで親が送迎して、昨年秋にようやく受け入れてもらえる所が見つかりましたが、親が病気になるたり年を老いていくと、とても不安が大きいです。是非、福祉に関しては最低限、今まで通りの助成が受けられますようお願いする次第です。よろしくお願ひ致します。</p>	<p>・(9)医療費自体に対する助成は、これまでどおり実施します。一方入院いかに関わらず、生活の中で当然に必要な食費について、健康保険制度における食費負担の考え方にあわせて、これまで市単独で実施していた入院時の食費助成分を平成21年11月から廃止します。これにより、市の経常的な支出を年間約2,000万円圧縮することができ、入院するかと在宅で治療されるかたの負担の均衡が図られます。なお、健康保険制度により、低所得者への配慮から軽減措置が設けられているため、自己負担額は所得や年齢に応じて1食あたり100円～260円となります。</p> <p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
387	障害	<p>障害者自立支援法が施行され、応能負担から応益負担となりました。障害をもった人が生きていくために必要な福祉サービスでも、利用料が必要となり、障害者が生活していくために様々な福祉サービスを利用すればするほど負担がふえてきます。合わせて医療を必要とする人も多くおられます。先日、大阪府から医療費助成の変更が出され、負担金額が増えました。少しずつの負担増であってもトータル的に見ると、かなりのものとなります。そして障害者の収入は障害者年金とわずがばかりの工賃しかありません。収入をふやすことも大変むずかしい状況にあります。どうかどんなに重い障害があっても、この箕面の町で、障害者年金で生活できるようにお願いします。</p> <p>(9)障害者・ひとり親家庭医療費助成事業について 障害者の多くは日常医療を必要とする方が多数おられます。また時によっては入院をしなければならない場合もあります。大阪府の医療費助成の変更で費用負担がふえることとなりました。その上に食事代も支払うとなるとかなりの負担増となります。利用料の上限を決める、所得制限など考えて下さい。</p>	<p>(9)医療費自体に対する助成は、これまでどおり実施します。一方入院いかに関わらず、生活の中で当然に必要な食費については、健康保険制度等における食費負担の考え方にあわせて、これまで市単独で実施していた入院時の食費助成分を平成21年11月から廃止します。これにより、市の経常的な支出を年間約2,000万円圧縮することができ、入院するかと在宅で治療されるかたの負担の均衡が図られます。なお、健康保険制度により、低所得者への配慮から軽減措置が設けられているため、自己負担額は所得や年齢に応じて1食あたり100円～260円となります。</p> <p>なお、大阪府における医療費助成制度の見直しについては、平成21年度の実施は見送られており、これまでの自己負担等に変更はありません。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
		<p>(25)(26)福祉予約バス、Mバスについて 車イス障害者にとって、どのバスを利用してモリフトがついているので、安心して利用することができます。今は公共機関へ行く場合だけの利用であったり、日曜日に利用できなかったりしますので、もう少し利用しやすいものにして下さい。また、こんでいても車イスで利用できるように願います。阪急バスとMバスが、うまく連携をとってもらい、利便の向上を。また、有料であってもよいのではないかと思います。箕面市は東西の交通がとっても不便ですので、利用しやすいものにして下さい。</p> <p>(27)在宅ケアセンターについて 障害福祉課の職員では、数年ごとに移動などがあり、同じようなサービスを提供することがむずかしいので、在宅ケアセンターに依頼して、同じ担当者がその人にかかわり、相談などを受けてスムーズにものごはこぶものだと思っておりました。これからますます重要な役割をになってもらうところだと思うのですが、また、市内の4相談事業所をまとめていく役割もあり、今まで以上にがんばってほしいところなので、経費削減のあり方を考え直して下さい。</p> <p>(35)障害者グループホーム補助金 家賃補助の維持継続をお願いします。箕面市内に公共の住宅でグループホーム・ケアホームとして利用できるものがなかなかありません。利用したくても段があったり通路がせまくて車イスでまわせなかったりします。そこで民間のマンションの4LD以上の物件となってしまう、家賃が高額となります。家賃補助を出してもらうことで、今なんとか障害者年金で生活できているというところですが、ただし、週末は家に帰らないと、やりくりできないのが現状です。家賃補助がなくなると利用者負担がますますふえて、生活するのがかなり苦しいものとなります。</p>	<p>(25)福祉予約バスについては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく地域公共交通活性化協議会による市内バス路線網の整備・充実、公共施設巡回福祉バス(Mバス)のあり方検討の動向を踏まえ、福祉有償運送やその他の移動支援サービスと併せて、今後の事業のあり方について、平成23年度に向けて研究・検討をしていきます。</p> <p>(26)公共施設巡回福祉バス(Mバス)については、市内バス路線網の充実や路線バスとMバスの連携や一体化に向け、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき市民団体、交通事業者、行政等で構成する地域公共交通活性化協議会において「地域公共交通総合連携計画」を作成する予定です。なお、サービス水準と運行経費のバランス、費用対効果、市・事業者・利用者の負担のあり方などが課題となりますので、平成22年度から社会実験としての実証運行の開始をめざしたいと考えています。</p> <p>(27)在宅ケアセンターは、相談支援の総合拠点として、また、障害者の在宅福祉サービスのケアマネジメント、その他地域で生活する障害者へ一貫した支援を行っていく役割を担うセンターとして設置しており、現在箕面市社会福祉協議会に運営を委託しています。少子高齢化の進展により福祉サービスへのニーズは膨らむ一方、本市の財政状況が危機的な状況にあることなどから、これまでの人員配置や運営体制の見直しを図るなど、効率的・効果的な事業の実施が必要です。今後も引き続き委託内容を見直し、市民サービスの低下をきたさないよう留意しながら、効果的な事業実施に努めていきます。</p> <p>(35)本市独自の施策として、市内で住居を借り、グループホーム・ケアホームを運営する事業者に対して施設借上補助金を交付しています。事業者がこの補助金を受けることで、利用者の家賃負担の軽減につながっています。本市内のグループホーム・ケアホーム運営主体のひとつであるあかつき福祉会でも、この補助金を活用していますが、市内に9か所のグループホーム・ケアホームが点在していることから、夜間の支援体制等の効率化を図ることができず、同福祉会の経営を圧迫しています。このような状況にあって、グループホーム・ケアホームの戸数を増やすこともままならない状況です。</p> <p>あかつき福祉会が(仮称)地域生活総合支援センターを建設することにより、平成23年度以降、同福祉会が運営する全てのグループホーム・ケアホームが同センターに統合されることになります。その結果、あかつき福祉会は、家賃を負担する必要がなくなることから、市の補助金の削減が図られるものです。また、グループホーム・ケアホームを統合することで施設化の方向と見られるかもしれませんが、あくまで上記の通り、グループホーム・ケアホームの施設借上補助金については、平成21年度も平成20年度と同様の</p>
427	障害	定額給付金を国民1人1人に給付するより弱い人々への運営支給に暖かい手を差し延べてほしいものです。	ご意見は理解いたしますが、定額給付金は国の制度になります。
432	障害	<p>85 国民健康保険繰出、86 上下水道繰出</p> <p>福祉減免は必要です。障害を持った方々が減免なく支払える能力があるならば当然支払われます。しかし、一般就労が困難なうえに、障害者年金は重度の人しか受給できません。障害者年金を受給できない人の方が圧倒的に多いのが現実です。</p> <p>収入的に平等でないにも関わらず、支払う義務だけを平等にするのはおかしいです。</p>	<p>(85)国民健康保険事業は、平成19年度決算で約24億円の累積赤字を抱え、平成20年度決算においても実質7億円の赤字を見込んでいます。そこで、国民健康保険財政の健全化について、箕面市国民健康保険運営協議会に諮問し、答申をいただきました。この答申に沿って、収納対策を強化し収納率の向上を図るとともに、特定健康診査等の保健事業の実施等により、被保険者のかたの健康増進と医療費の抑制等に努めます。また、国民健康保険事業と市の財政状況を考慮しながら一般会計から一定の繰入を行い、被保険者のかたにも国民健康保険財政の状況をご理解いただき、健全な運営が図れるよう、保険料及び減免制度の見直しなど、一定のご負担をいただくことが必要であると考えています。なお、国民健康保険料の納付が困難なかたに対しては、まず納付相談を行い個々の事情を考慮して丁寧に対応していきます。</p> <p>(86)上下水道料金の福祉減免については、一般会計の負担を廃止し、平成21年度は上下水道事業会計で負担します。今後、福祉減免のあり方を検討していきます。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
467	障害	<p>昨年、6月に箕面市内の障害者団体より、前市長宛で、大阪府のPT案についての要望書を提出しましたが、しっかりと引継がされているのでしょうか？同年度内に、今度は箕面市から同じ趣旨のプラン(一律的な削減)が出されていることに驚いています。</p> <p>確かに、箕面市における財政状況が厳しいなかで、見直しの必要性は理解できます。しかしながら、今回の緊急プランでは、障害者が地域で生きるために必要な政策に関しても、他の政策と同様に一律的な削減・廃止が打ち出されています。対象となる生活支援や医療、障害児教育、就労など“生活に直結する”カットは、障害者の生活を根底から脅かす問題です。</p> <p>障害者はこの間、障害者自立支援法の施行によって制度や支援体制の水準低下などで、生活を強く圧迫されてきました。それに加えての二重の削減は、障害者の生きる権利そのものを奪ってしまうことになりかねません。「ひとりひとりの違いを認め合い、ひとりひとりを大切に」箕面市人権宣言、箕面市人権のまち条例の理念に基づき、これまで箕面市で培ってきた障害者の生活と就労の基盤を守っていただくよう強く求めます。</p> <p>また、Nプランについて、前年末にパブリックコメントを締め切ったところであるが、障害福祉計画との整合性は、検証されているのでしょうか？緊急プランが、策定中の(素案段階で、充分とは言えない)障害福祉計画に与える影響を懸念しています</p> <p>精神障害者が、地域での生活を(再入院せずに)継続することや、就労支援を受ける、スタートラインに立つためには、時間をかけたいいくつかのステージを乗り越える支援が必要です。その支援の中心を担ってきた小規模通所授産施設の機能を評価して頂きたい。</p> <p>福祉作業所や小規模通所授産施設の運営助成は、日中活動を支える重要な基盤施策であり現行制度のまま必ず存続して下さい。単純に法定事業への移行を費用効果に見込んでいますが、逆に市として、移行によるサービス低下を起こさないよう、責任を持った施策を考えるべきだと思います。</p> <p>所得保障が充分になされていない、高齢者、障害者を直接・間接に支援する下記の項目についての見直し、削減、廃止については、再考し現状維持すべきと考えます。</p> <p>12: 予防接種事業 25: 福祉予約バス運行事業 26: 公共施設巡回福祉バス運行事業 85: 国民健康保険 86: 上下水道 27在宅ケアセンター運営事業について: 自立支援法改正の目玉である、相談支援事業の強化に逆行することとなり、障害者支援の基盤を脆弱化させることになりませんが、どう考えておられるのでしょうか？ 39社会福祉協議会補助金について: 地域福祉の拠点・中核である、社会福祉協議会の存在意義を否定しているように思われます。 41地域福祉権利擁護事業について: 障害者の家族の高齢化、障害当事者の高齢化にともない、ニーズの増加が、確実に見込まれる事業である。高齢者、障害者の権利擁護についての認識不足ではないか？ 78障害者事業団補助金について: 自立支援法の一つの大きな軸は「就労支援」である。旧体系事業から新体系への移行が進めば進むほど、ますます重要となる事業を運営している障害者事業団のサービス基盤の低下は、事業団だけでなく、箕面市全体のサービス体系のバランスを損なうことになると考えられる。</p>	<p>この緊急プラン(素案)・ゼロ試案はチーム“ゼロ”が作成した議論の為のたたき台ですので、Nプランを実行する事業担当課との調整は行っておりません。改革の実行に当たっては、市民の皆様のご意見も参考にしながら事業担当課との調整を行い、議会とも議論し毎年の予算編成で実行していきます。</p> <p>(12)65歳以上の高齢者が自己負担1000円(ワクチン代などの実費相当額、非課税世帯及び生活保護受給者等は減免制度あり。)でインフルエンザ予防接種を受けられるよう、市が委託料(平成20年度で約5,084万円)を支出しています。ゼロ試案では、今後、平成23年度に向けて、委託先と協議しながら自己負担額に配慮しつつ、市負担額の見直しについて検討していきます。</p> <p>(25)福祉予約バスについては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく地域公共交通活性化協議会による市内バス路線網の整備・充実、公共施設巡回福祉バス(Mバス)のあり方検討の動向を踏まえ、福祉有償運送やその他の移動支援サービスと併せて、今後の事業のあり方について、平成23年度に向けて研究・検討していきます。</p> <p>(26)公共施設巡回福祉バス(Mバス)については、市内バス路線網の充実や路線バスとMバスの連携や一体化に向け、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき市民団体、交通事業者、行政等で構成する地域公共交通活性化協議会において「地域公共交通総合連携計画」を作成する予定です。なお、サービス水準と運行経費のバランス、費用対効果、市・事業者・利用者の負担のあり方などが課題となりますので、平成22年度から社会実験としての実証運行の開始をめざしたいと考えています。</p> <p>(27)在宅ケアセンターは、相談支援の総合拠点として、また、障害者の在宅福祉サービスのケアマネジメント、その他地域で生活する障害者へ一貫した支援を行っていく役割を担うセンターとして設置しており、現在箕面市社会福祉協議会に運営を委託しています。少子高齢化の進展により福祉サービスへのニーズは膨らむ一方、本市の財政状況が危機的な状況にあることなどから、これまでの人員配置や運営体制の見直しを図るなど、効率的・効果的な事業の実施が必要です。今後も引き続き委託内容を見直し、市民サービスの低下をきたさないよう留意しながら、効果的な事業実施に努めていきます。</p> <p>(39)社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とする民間の組織です。活動内容は市の受託事業をはじめとして本市における地域福祉施策と密接な関連のある事業が法人事業の大半を占めており、本市平成21年度は、補助内容の精査と人事交流の縮減により、補助金を削減します。今後も、平成23年度に向けて補助金のあり方を引き続き検討します。</p> <p>(41)改革項目39「社会福祉協議会補助金」における社会福祉協議会の運営及び事業全般のあり方に関する検討とあわせ、本事業の補助のあり方を検討します。</p> <p>(86)上下水道料金の福祉減免については、一般会計の負担を廃止し、平成21年度は上下水道事業会計で負担します。今後、福祉減免のあり方を検討していきます。</p> <p>(85)国民健康保険事業は、平成19年度決算で約24億円の累積赤字を抱え、平成20年度決算においても実質7億円の赤字を見込んでいます。そこで、国民健康保険財政の健全化について、箕面市国民健康保険運営協議会に諮問し、答申をいただきました。この答申に沿って、収納対策を強化し収納率の向上を図るとともに、特定健康診査等の保健事業の実施等により、被保険者のかたの健康増進と医療費の抑制等に努めます。また、国民健康保険事業と市の財政状況を考慮しながら一般会計から一定の繰入を行い、被保険者のかたにも国民健康保険財政の状況をご理解いただき、健全な運営が図れるよう、保険料及び減免制度の見直しなど、一定のご負担をいただくことが必要であると考えています。なお、国民健康保険料の納付が困難なかたに対しては、まず納付相談を行い個々の事情を考慮して丁寧に対応していきます。</p> <p>(78)財団法人 箕面市障害者事業団については、基本財産・運用財産の運用収入を原資として事業実施することを基本としています。ただし、財団設立時の金利と比較して現行金利は大きく下がっていることから、本市が設立した他の財団法人と同様、設立時の金利で得られた運用収入と現行金利で得られる運用収入との差額分について、一定比率の補填を補助金として、市から障害者事業団に交付しています。平成21年度は、経営改革計画による自主・自立経営をめざして、補助金を1割削減しますが、障害者事業団の事業収益等を助成し、実現可能な範囲であると認識しています。今後は、障害者事業団の収益向上に向けた市の支援策について検討を行い、支援策の効果を見極めながら判断していきたいと考えています。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
471	障害	<p>この素案がなんの前触れもなくあがったのが2008年12月、2009年1月よりパブリックコメントの募集を開始し、素案が通れば4月より施行となるこのゼロ試案。あまりに急なことで素案の対象になっている事業所側に対し、何の説明もないのは不合理なことに思えて仕方ありません。箕面市が行っている事業が約900項目あるなかで、なぜこの87項目だけがゼロ試案にあげられ、見直しの対象となったのでしょうか。</p> <p>誰がどういう意図で、『この事業は見直しを。この事業は現状のまま。』と振り分けていったのか大変疑問に思います。もし他の800項目あまりの事業が現状のままであるのに対し、今回の見直しの対象となった87項目との違いがあるのだとすれば、理由を明確にして欲しいと思います。</p> <p>そして事前調査が不十分のように思えますが、このゼロ試案の作成チームのメンバーは、各分野の専門知識を持った方で組まれていたのでしょうか？</p> <p>我々は日頃より、福祉の現場の現状や障害当事者の声を行政に届けてきたつもりでしたが、我々の声は届いていなかったのでしょうか？</p> <p>44項目目にあがっている小規模授産施設の補助金の見直しについては、我々に直結してくる深刻な問題となっています。我々は試行錯誤しながらも、心の病(精神障害)を持った方たちの社会参加の機会や、地域における精神障害への誤解や偏見に対する啓発活動などを行ってきましたが、ゼロ試案が施行になることで、活動内容に大きな変化が起こらざるおえない状況にあります。</p> <p>最初から『補助金をカット』を謳うのではなく、ひとつひとつの事業の再調査を行い、現場の現状を確認し、どこが減らしていけそうなのかを一緒に考え、最終的にそこに見合った金額をだしていくのが、本来あるべき姿ではないでしょうか。</p> <p>このゼロ試案については、立ち上げ方、内容に至るまで本当に残念で仕方ありません。</p>	<p>「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる。」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p> <p>「拙速・性急すぎる、突発的に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p>
475	障害	<p>景気悪化で民間は大企業でもリストラ、給与カットしています。箕面市の財政悪化は管理職に大いに責任があると思います。給与4.5%カットは甘いのでは・・・</p> <p>そのつけを弱いものいじめするような計画を進めないで下さい。</p> <p>箕面市は福祉の充実していると思っていましたが障害者の子供を育てている親の立場としてとても心配です。</p> <p>補助金カットはやめてください。</p>	<p>「市職員の人件費について」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>
477	障害	<p>市長の、議会における所信表明において、「安心・支え合い最優先」は、基本政策とされて、第1番目に語られている。曰く、「ご高齢の方から子どもまで、障害のある人もない人も、誰もが安心して楽しく生活していける優しいまちでなければいけません。」そしてこの度、この「緊急プラン」なるものを目にして、驚きを禁じえなかった。市長の、議会における所信と矛盾しているじゃないか。「安心・支え合い最優先」じゃなかったのか。「障害者作業所」、「障害者事業所」等、諸々の障害者関連の補助金を削減して、たとえば閉鎖に追い込まれ、「障害者」が路頭に迷うことになったとしたら、「誰もが安心して楽しく生活していける優しいまち」は、永遠のブラックジョークとして、箕面の伝説に残るだろう。伝え聞くところによると、この削減プランは、実情を調査したうえで算定ではないらしいから、そうなる可能性は、大いにある。実情を調査するなら、この削減プランは、ありえないものだ。白紙にもどすべきだ。</p> <p>人権啓発等、公の目的のために、公共施設を使う際の10割減免は、市民活動の活性化にとって、欠かせないものだ。廃止すべきではない。</p> <p>総じて言うと、この「緊急プラン」は、市民への情報周知が、まったく不足している。4回の説明会も、参加者は限られていたと聞く。インターネットへの接続環境にない人も、世の中には多い。もっと時間をかけて、議論すべきだ。</p> <p>障害者施策は、地域社会の、最も底の底のセーフティネットであると思う。私の周りには、自立して生活を営む「障害者」たちが、数多く存在する。彼らは、最近よく話題にのぼる「セーフティネット」からは、すでに、その下にいる。最後の最後の安全網をしっかりと張っていただきたい。地域社会の鍵だと思う。</p>	<p>「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる。」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p> <p>「拙速・性急すぎる、突発的に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p> <p>緊急プラン(素案)を撤回しても、問題の先送りに過ぎず、箕面市の財政問題や財源不足は解決しません。また、現在の経済不況の影響は、市町村へは税収のさらなる減少として1～2年後に現れてきます。だからこそできるだけ早い段階で対策を実行する必要があります。必要不可欠なセーフティネットや福祉・教育・都市環境などの根幹的な施策を持続・継続していくためにも、改革は避けて通れないものと考えます。</p> <p>(55)公共施設使用料の減免制度は、生涯学習活動や文化活動などの自主的の事業を支援するために制度化しているものですが、本市では、他の自治体と比較して活発な自主的活動が行われており、減免制度の効果があつたものと認識しています。しかし、平成12年に減免制度の見直しを行い、それから相当期間を経過しており、減免のあり方を検討していく時期であると考えています。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
481	障害	<p>38 あかつき福祉会 補助金について あかつき福祉会は、身体に、知的に、また重複の障害をもった人を受け入れて、箕面市内のさまざまな福祉サービスを提供してもらっています。その補助金がカットされれば 重い障害をもった人たちがだんだん利用できなくなるのではと不安をおぼえます。重い障害をもった人たちがどこへも行くところがないといったことにならないようにお願いします。障害者を介護している親もだんだんと高齢となってきた、福祉サービスを利用して なんとか今の生活を維持している状況です。 どうかあかつき福祉会の補助金をへらさないで下さい。</p> <p>39 社会福祉協議会 補助金について 補助金を削減することで 地域福祉に影響があまり出ないようにして下さい。また、社協さんから当会への支給されている補助金が削減されれば 会活動にも大きな支障をきたします。また余暇活動の機会を少ない重度障害者の社会参加の機会がますますへってしまいます。</p>	<p>(38)この事業の補助内容は、あかつき福祉会と市の間で実施してきた人事交流に伴う市職員の人件費補助及び総合保健福祉センター内においてあかつき福祉会が運営しているライフプラザショートステイ室の経営支援です。 人事交流については、平成20年度をもって終了し、平成21年度は人事交流に伴う補助金を削減します。</p> <p>また、ショートステイ室は、夜間に職員が常駐する施設に併設することで、利用者のニーズに柔軟に対応した効率的な運営が可能ですが、現状のライフプラザショートステイ室は、併設型でないため、非効率な運営とならざるを得ません。現在、あかつき福祉会では、(仮称)地域生活総合支援センターの建設に向けた検討を行っていますが、同センターを建設した際には、ライフプラザショートステイ室を拡大移転し、スタッフの効率的運用により運営面の改善、経費の削減を行うことで、市内のショートステイ基盤の充実・拡大を図ることができ、補助金も廃止できる予定です。</p> <p>(39)社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とする民間の組織です。活動内容は市の受託事業をはじめとして本市における地域福祉施策と密接な関連のある事業が法人事業の大半を占めており、本市の福祉施策の推進に必要不可欠な法人です。そのため、運営及び事業の実施が円滑に行えるよう、公共的目的をもって市の補助金を交付しています。 平成21年度は、補助内容の精査と人事交流の縮減により、補助金を削減します。 今後も、平成23年度に向けて補助金のあり方を引き続き検討します。</p>
483	障害	<p>身体障害者とその親たちが何十年も努力し、やっと獲得した福祉サービスが減少されないようにして下さい。やっとなつかんだグループホームでの自立の生活を保障してほしい。家賃補助を継続しつづけてほしい。余暇活動に制限がかからないようにしてほしい。 また、市立病院におけるリハビリを継続してほしい。縮小し、外来患者まで通院が出来なくなるようにしてほしい。</p>	<p>(35)本市独自の施策として、市内で住居を借り、グループホーム・ケアホームを運営する事業者に対して施設借上補助金を交付しています。事業者がこの補助金を受けることで、利用者の家賃負担の軽減につながっています。本市内のグループホーム・ケアホーム運営主体のひとつであるあかつき福祉会でも、この補助金を活用していますが、市内に9か所のグループホーム・ケアホームが点在していることから、夜間の支援体制等の効率化を図ることができず、同福祉会の経営を圧迫しています。このような状況にあって、グループホーム・ケアホームの戸数を増やすこともままならない状況です。</p> <p>あかつき福祉会が(仮称)地域生活総合支援センターを建設することにより、平成23年度以降、同福祉会が運営する全てのグループホーム・ケアホームが同センターに統合されることとなります。その結果、あかつき福祉会は、家賃を負担する必要がなくなることから、市の補助金の削減が図られるものです。また、市の補助金の削減だけでなく、スタッフの効率的運用による運営面の改善や安全面の充実・改善が図られるという利点もあります。</p> <p>グループホーム・ケアホームを統合することで施設化の方向と見られるかもしれませんが、あくまで上記の利点を考慮してのことで、利用者にとってはこの支援センターで生活が完結されるものではなく、日中活動の場や余暇活動等は地域に求めていくものです。</p> <p>なお、グループホーム・ケアホームの施設借上補助金については、平成21年度も平成20年度と同様の基準で交付する予定です。また、平成23年度以降、あかつき福祉会の運営するグループホーム・ケアホームにかかる補助金については、(仮称)地域生活総合支援センター建設によりなくなります。他の事業者が運営するグループホーム・ケアホームに対する施設借上補助金については継続します。</p> <p>リハビリテーション医療については施設や設備的にも充実しており、市立病院の特色の一つです。平成21年度中に地域のニーズや収益性、医師や療法士などの人材確保の観点を含め総合的なデータに基づき「市立病院改革プラン」の中で検討します。</p>

No.	種別	意見	市の考え方
486	障害	今回のパブリックコメントの期間があまりに急すぎて、障害当事者へ説明する中で意見を出したいという人がたくさんいたが、結果間に合わなかった。各々が自分の今の生活を維持するために障害を抱えながら一生懸命生きている。これ以上生きるために削るものは何もないという人が、一生懸命何を削るかと考えている姿が焼き付いている。箕面は「誰もが暮らしやすい街」をモットーとしてきたように思う。不安を仰ぐだけのこのプランは、どこが安心できる地域と結びつくのか。この緊急プランによって、生活保護を強いられる人も出てくる可能性もある。まだまだ、障害者に対して偏見や誤解が多い中でも、それぞれが、自分たちの居場所やいきがいを求めて、事業所・作業所・授産施設などへ通う人たちの姿をもう一度見てほしい。この生きにくい社会情勢の中で、それこそ、心を病む人は増えていくでしょう。ますます受け皿が必要となるであろうこの時期に、利用する資源がなければ引きこもりといわれる人は増加するばかりではないでしょうか。高齢者・障害者が生き生きと安心して暮らせる社会こそ子ども大人も誰もが安心して住める社会なのではないでしょうか。	「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。
490	障害	現場の声、市民の声を聞き「ゼロ試案」を納得のいくものにして下さい。国の三位一体改革で箕面市が財源不足になったという事は国の政策の失敗です。一つでもそのような事態になる市があることを知って知らずが強行にすすめ、放置していることが問題です。市にも問題あります。ですから、今回の改革は市民生活にどれだけの支障があるのか慎重に進めていくべきだと思います。議員の方々にも現場の方々の意見を聞き、足を運んで補助金などカットされたところが支障をきたさないのかきちんと調べて下さい。切にお願いします。 娘は知的にも身体にも障害を持っています。市立ワークセンターに通所していますが、重度の障害を持っている人が多くいます。重度の方が活動する場所は限られています。あかつき福祉会の手厚い援助に頼り、充実した毎日を送っています。今回補助金がかットされていますが、自立支援法以降運営は厳しくなっており、さらに厳しくなります。私達は安心して生活できません。見直していただきたいと思います。	(38)この事業の補助内容は、あかつき福祉会と市の間で実施してきた人事交流に伴う市職員の人件費補助及び総合保健福祉センター内においてあかつき福祉会が運営しているライブラザショートステイ室の経営支援です。 人事交流については、平成20年度をもって終了し、平成21年度は人事交流に伴う補助金を削減します。 また、ショートステイ室は、夜間に職員が常駐する施設に併設することで、利用者のニーズに柔軟に対応した効率的な運営が可能ですが、現状のライブラザショートステイ室は、併設型でないため、非効率な運営とならざるを得ません。現在、あかつき福祉会では、(仮称)地域生活総合支援センターの建設に向けた検討を行っていますが、同センターを建設した際には、ライブラザショートステイ室を拡大移転し、スタッフの効率的運用により運営面の改善、経費の削減を行うことで、市内のショートステイ基盤の充実・拡大を図ることができ、補助金も廃止できる予定です。
513	障害	障害者の働くことに関わる助成金の削減額を見ますと、他の市と比べて豊かである箕面で、なぜ今でもギリギリで活動している彼等にまで、市の財政立て直しの責任を分配しようとするのか、無慈悲極まりないとなさげくなります。その一方で失敗すれば破たんするのが判っていながら大型開発をすすめています。 障害者自立のための助成はもっと多くたって良いくらい。人にもほこれる大事ななくてはならない人道的なもの。その血が通った制度はつぶしてはならないと思います。 その他、ゼロの試案とは、せっかく民意、協力が高まって動き出している事へ、冷水をかけて止めさせる式の事ばかり。止めることのマイナスは計り知れません。それこそ止めたらそれで終わり。多分誰も立ち上げようという事もなくなる。気力を根こそぎにしてしまうからです。どうぞ、市の息のかかった在宅ケアセンター、訪問看護ステーション、青少年海外体験などなるべく存続させてほしい。人の心をふみにじる政策は、市民に不安をもたらすだけ。今残っている補助的なもの、市民へのサービスは一つでも変えずに残し、丁寧に少しずつ、改良改善して欲しい。よろしくおねがいします。	「大規模開発について」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。 ・(27)在宅ケアセンターは、相談支援の総合拠点として、また、障害者の在宅福祉サービスのケアマネジメント、その他地域で生活する障害者へ一貫した支援を行っていく役割を担うセンターとして設置しており、現在箕面市社会福祉協議会に運営を委託しています。少子高齢化の進展により福祉サービスへのニーズは膨らむ一方、本市の財政状況が危機的な状況にあることなどから、これまでの人員配置や運営体制の見直しを図ることで、効率的・効果的な事業の実施が必要です。今後も引き続き委託内容を見直し、市民サービスの低下をきたさないよう留意しながら、効果的な事業実施に努めていきます。 ・(28)市が訪問看護ステーションを設置した平成4年当時、市内で訪問看護サービスを提供する事業所は市が設置する訪問看護ステーションのみでしたが、介護保険法施行(平成12年4月)後は増加し、現在では本市設置分を含め市内に5カ所となり、一定量のサービスが提供されるようになりました。しかし、サービスの需要量も増加してきていることから、今後の市内における需要量と供給量を踏まえ、平成22年度に向けて事業のあり方について検討していきます。 (18)青少年海外体験交流事業は、ニュージーランドのハット市との国際協力都市提携を契機に、現地青少年等との交流・親善を通じて、国際的視野を広め、本市の青少年活動の推進を図ることを目的に実施し、平成18年度からは毎年15名の中学生を市が渡航費用を助成し、同市に派遣してきました。この事業により、平成7年から14年間で延べ293名の中学生をハット市に派遣し、語学研修やホームステイを通じた異文化体験は、派遣された中学生にとって非常に有意義な体験となり、その後の派遣者の進路や考え方に大きな影響を与えました。 しかし、事務事業の見直し、経費の節減合理化、また、行政、国際交流協会と市民間の役割分担と適正な受益者負担のあり方などを含めて検討するため、平成21年度から一旦事業を休止することとしました。 今後は、これまでの交流を踏まえ、子どもたちの絵画や両市を紹介する写真作品などの巡回展示を通じ、多くの市民が両市の交流について知り、考える機会を設け、それにあわせて、市民主体の国際交流を継続するための情報や手法を両市間で交換しながら、行政間の交流のみならず、市民と市民との結びつきが強固になるよう市民活動に対する支援策を含めて、両市の新たな交流のあり方・方法を検討していきます。